

第59期 決算データ分析資料

令和3年(2021)12月期 第1四半期

第58期定時株主総会
令和3年(2021)3月18日開催



▲東京会場(入場者数を300名様に制限)

TRUSCO 第59期(令和3年12月期)業績見通し		招集ご通知19ページ	トラスコ中山株式会社 第58期定時株主総会 令和3年3月18日(木)開催
売上高	2,275億20百万円	(+6.6%)	
売上総利益率	21.5%	(±0)	
販売管理費及び一般管理費	357億90百万円	(+2.6%)	
内)減価償却費	70億35百万円	(+7.2%)	
営業利益	131億70百万円	(+19.5%)	
経常利益	138億20百万円	(+19.6%)	
親会社株主に帰属する当期純利益	95億20百万円	(+18.9%)	
1株当たりの当期純利益	144円37銭	(+22円94銭)	
1株当たり年間配当金	36円50銭	(+6円00銭)	

しにつきましてご説明させていただきます。ご存じの方も多いかと思いますが当社は3月15日月曜日に、業績予想と配当予想の上方修正を行っております。

▲オンライン視聴画面

総出席・視聴者数: 556名
会場出席者数: 324名
オンライン視聴: 232名

トラスコ中山株式会社

令和3年(2021)4月30日発表

経営企画部 部長 兼
経営企画・広報IR課 課長 下津 敦嗣
経営企画・広報IR課 平野 みのり
経営企画・広報IR課 高橋 実花
〒105-0004
東京都港区新橋四丁目28番1号
トラスコ フィオリートビル10F
TEL: 03-3433-9840 FAX: 03-3433-9881
E-mail: info@trusco.co.jp

一 資料目次 一

第59期 令和3年(2021)12月期第1四半期

■はじめに

- P3 業績予想の上方修正について
- P4 【連結】会社概要

A■全社経営実績

- P5 ①【連結】令和3年(2021)12月期第1四半期 経営成績
- P6 ②【親単体】令和3年(2021)12月期第1四半期 経営成績
- P7 ③【連結】令和3年(2021)12月期 第1四半期
【連結】全社月次売上高／【親単体】1日当たり売上高

B■販売実績

- P8 ①【連結】販売セグメント別売上高・売上総利益率・経常利益
- P9 ②【連結】販売セグメント別月次売上高推移表
- P10 ③【連結】ファクトリールート ブロック別・業種別・
販売ルート別実績
- P11 ④【連結】eビジネスルート売上高・オレンジコマース連携数
- P12 ⑤【連結】ホームセンタールート得意先 上位10社取引高
- P13 ⑥海外子会社の経営成績
- P14 ⑦【親単体】令和3年(2021)12月期第1四半期 売上分析
- P15 ⑧【親単体】令和3年(2021)12月期第1四半期 商品分類別売上実績
- P16 ⑨【親単体】令和3年(2021)12月期第1四半期 売上分析
(商品分類別)
- P17 ⑩【親単体】令和3年(2021)12月期第1四半期
トラスコ オレンジブック掲載カテゴリ別実績
- P18 ⑪【親単体】令和3年(2021)12月期第1四半期
プライベート・ブランド(PB)商品 売上高実績

C■取組み状況

- P19 ①仕入先数及び新規掲載商品売上高／
在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数及び法人数
- P20 ②【親単体】物流データ
- ③【親単体】システム稼働状況

D■財務等実績

- P21 ①【連結】第59期第1四半期販売費・一般管理費の主な増減内容
- P22 ②【連結】第59期第1四半期販売費・一般管理費
- P23 ③【連結】第59期第1四半期財務諸表
- P24 ④【連結】第59期第1四半期設備投資等の状況

E■今期以降の計画

- P25 ①経営計画
- P26 ② 第59期 主な設備投資・トピックス

■参考資料■

- P27 ①株式情報
- P28 ②業界での指数比較
- P29 ③【連結】令和3年(2021)12月期 四半期毎の実績(四半期)
- P30 ④【連結】令和3年(2021)12月期 四半期毎の実績(累計)
- P31 ⑤会社データ
- P32 ⑥当社売上高指数・鉱工業生産指数
- P33 ⑦第59期 第1四半期トピックス

本資料には、将来の業績見通しおよび事業計画に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。
また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社は現時点での最新情報に更新する義務を負っていません。

業績予想の上方修正について(令和3年3月15日発表)

当社は2月12日(金)決算発表時に第59期予算を開示しておりましたが、予算策定当初と比較して企業の設備投資が徐々に復調し、景気全体が回復に向かっていると判断し、第59期予算の上方修正を行いました。

■今回修正予算(第59期 令和3年(2021)12月期)

	前回発表予想 (令和3年2月12日発表)	今回修正予想 (令和3年3月15日発表)	前回予想比	前年比
売上高	2,205億20百万円	2,275億20百万円	+3.2%	+6.6%
営業利益	124億70百万円	131億70百万円	+5.6%	+19.5%
経常利益	128億80百万円	138億20百万円	+7.3%	+19.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	88億70百万円	95億20百万円	+7.3%	+18.9%
1株当たり当期純利益	134 円51 銭	144 円37 銭	+9円86銭	+22円94銭

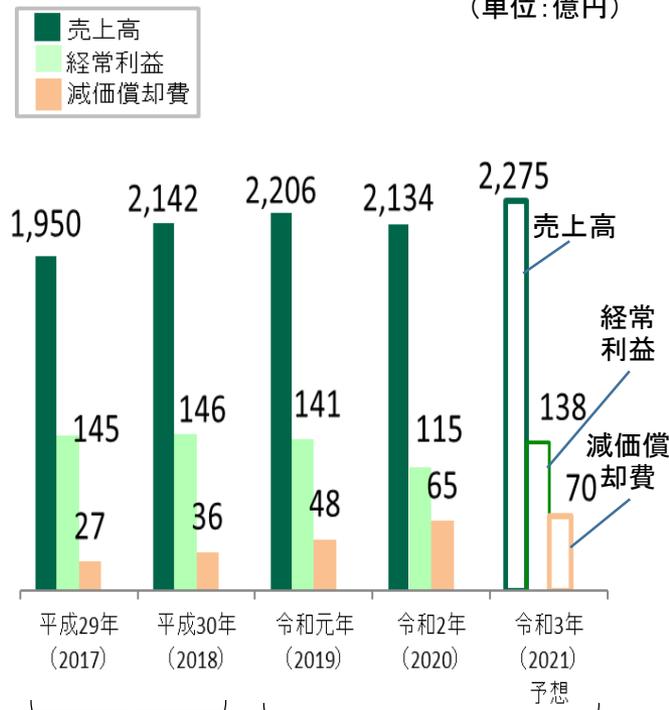
【連結】会社概要

令和3年(2021)3月末現在

創業	昭和34年(1959)5月15日
代表者	代表取締役社長 中山 哲也 公益財団法人 中山視覚障害者福祉財団 理事長 全日本機械工具商連合会 副会長 大阪機械器具卸商協同組合 理事長
本社事務所	東京本社(東京都港区・本店登記) 大阪本社(大阪市西区)
拠点数	計92か所 国内89か所:本社2か所、支店61か所、物流センター26か所 海外3か所:現地法人:タイ、インドネシア 駐在所:ドイツ(デュッセルドルフ)
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証一部(証券コード:9830)
従業員数	2,797名(役員11名、社員1,656名、パート1,130名)
格付状況	A(株式会社格付投資情報センター)
事業内容	機械工具、物流機器、環境安全用品をはじめとしたプロツール(工場用副資材)の卸売業及び自社ブランドTRUSCOの企画開発

➤売上高・経常利益・減価償却費の推移

(単位:億円)



【非連結】

【連結】

*積極的な物流・デジタル投資により、減価償却費が増加。

ビジネスフロー

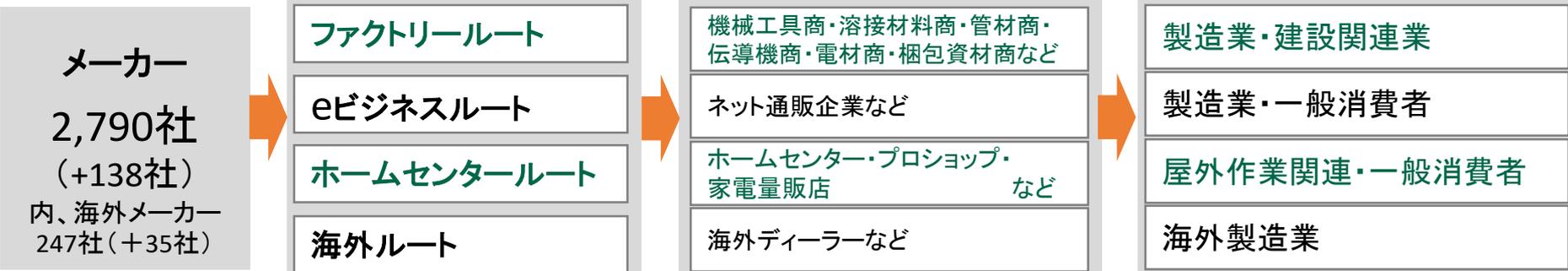
仕入先様

()前年同期比

当社(卸売業)

主な販売店様 5,500社(P19参照)

ターゲット市場(主なユーザー様)



A-① 【連結】令和3年(2021)12月期第1四半期 経営成績

- ・令和3年3月15日に第59期業績予想の上方修正を行いました。
- ・連結の売上高 : 前年比+1.3%、予算比は+0.2%。営業日数は前年同期より1日増加しました。(営業日数・・・前期:58日、当期:59日)
※営業日数は親単体の営業日数
- ・連結の売上総利益率 : 21.5% 前年同期比△0.3pt 要因は下記によるものです。
⇒新型コロナウイルス感染症拡大で特需的に増加していたマスクなどの保護具の売上高が一服しました。(前年比△10.0%)
- ・販管費: 昨年計上した基幹システム(パラダイス)改修による支払手数料、株主優待廃止により広告宣伝費が減少し、前年同期比△5.1%となりました。(販管費詳細はP.21～22参照)

	令和2年(2020)12月期 第1四半期		令和3年(2021)12月期 第1四半期						
	実績	構成比	実績	前年同期比	構成比	予算	構成比	予算差額	予算比
売上高	574億93百万円	-	582億46百万円	+ 1.3%	-	581億21百万円	-	+1億25百万円	+0.2%
売上 総利益	125億56百万円	21.8%	125億43百万円	△ 0.1%	21.5%	125億16百万円	21.5%	+27百万円	+0.2%
販売費及び 一般管理費	92億18百万円	16.0%	87億52百万円	△ 5.1%	15.0%	88億11百万円	15.2%	△58百万円	△0.7%
(うち減価償却費)	14億25百万円	2.5%	17億04百万円	+ 19.6%	2.9%	16億85百万円	2.9%	+19百万円	+1.2%
営業利益	33億37百万円	5.8%	37億90百万円	+ 13.6%	6.5%	37億05百万円	6.4%	+85百万円	+2.3%
経常利益	33億84百万円	5.9%	39億95百万円	+ 18.0%	6.9%	39億43百万円	6.8%	+52百万円	+1.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	23億21百万円	4.0%	27億12百万円	+ 16.9%	4.7%	27億25百万円	4.7%	△12百万円	△0.4%
1株当たり 四半期純利益	35円20銭	-	41円14銭	+5円94銭	-	41円32銭	-	△18銭	-

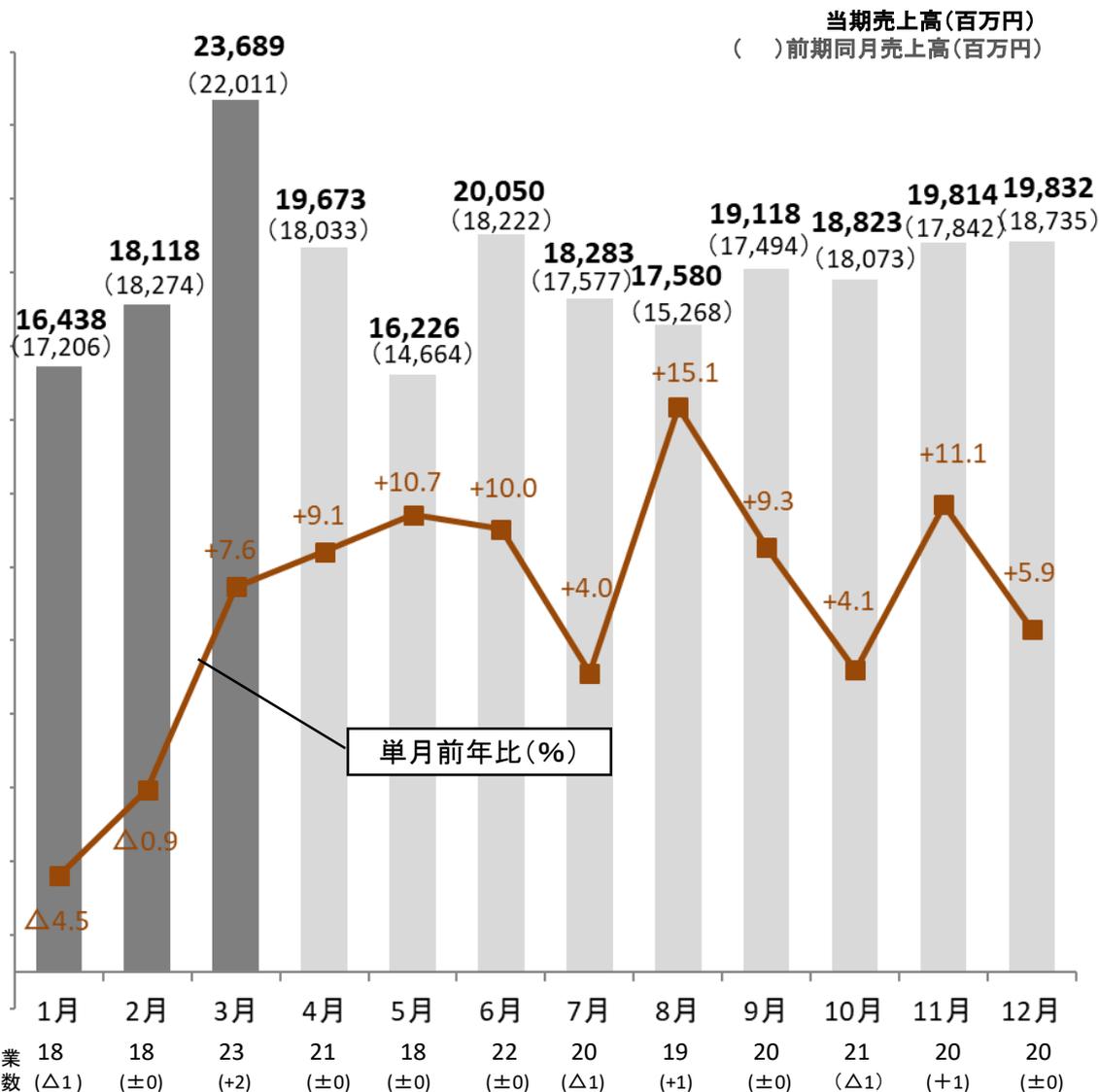
A-② 【親単体】令和3年(2021)12月期第1四半期 経営成績

	令和2年(2020)12月期 第1四半期		令和3年(2021)12月期 第1四半期						
	実績	構成比	実績	構成比	前年 同期比	予算	予算 構成比	予算 差額	予算比
売上高	575億33百万円	—	581億59百万円	—	+1.1%	579億90百万円	—	+1億68百万円	+0.3%
売上 総利益	125億11百万円	21.7%	124億61百万円	21.4%	△0.4%	124億64百万円	21.5%	△2百万円	△0.0%
販売費及び 一般管理費	91億53百万円	15.9%	86億82百万円	14.9%	△5.1%	87億39百万円	15.1%	△56百万円	△0.7%
(うち減価償却費)	14億08百万円	2.4%	16億87百万円	2.9%	+19.7%	16億85百万円	2.9%	+1百万円	+0.1%
営業利益	33億58百万円	5.8%	37億79百万円	6.5%	+12.6%	37億25百万円	6.4%	+54百万円	+1.5%
経常利益	33億63百万円	5.8%	39億88百万円	6.9%	+18.6%	39億61百万円	6.8%	+27百万円	+0.7%
四半期純利益	23億03百万円	4.0%	27億11百万円	4.7%	+17.7%	27億35百万円	4.7%	△23百万円	△0.9%
PB 売上高	114億72百万円	19.9%	112億89百万円	19.4%	△1.6%	112億99百万円	19.5%	△9百万円	△0.1%
1株当たり 四半期純利益	34円94銭	—	41円12銭	—	+6円18銭	41円47銭	—	△35銭	—

A-③令和3年(2021)12月期第1四半期 全社月次売上高/1日当たり売上高

【連結】全社合計

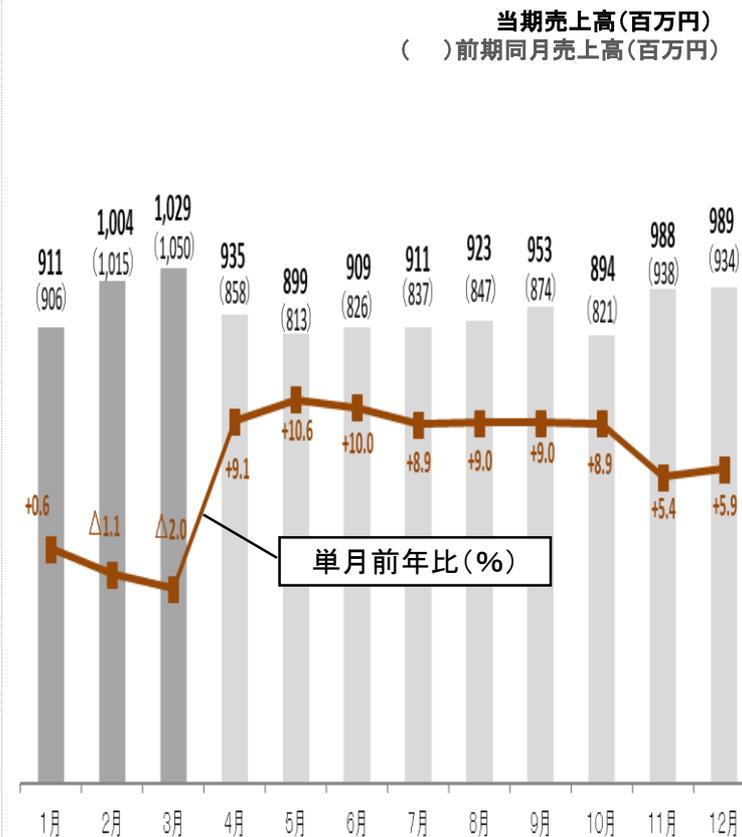
※業績予想修正に伴い、1-3月は実績、4月以降は予算額で表記しています。



【親単体】全社1日当たり平均売上高推移

※業績予想修正に伴い、1-3月は実績、4月以降は予算額で表記しています。

製造現場で使用されている消耗品は日々コンスタントに注文されるため、当社は1日当たりの売上高で前年との比較を行っております。
また、多くの企業の決算月である3月は売上高が大きい繁忙期となっています。



B-① 【連結】販売セグメント別売上高・売上総利益率・経常利益

■販売セグメント別 連結売上高

	令和2年(2020)12月期第1四半期				令和3年(2021)12月期第1四半期										
	売上高		売上 総利益率	経常利益	売上高							売上総利益率		経常利益	
販売ルート	実績	構成比	実績	実績	実績	構成比	前年増加額	前年同期比	予算	予算総額	予算比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
ファクトリー ルート	433億50百万円	75.4%	21.3%	24億98百万円	422億43百万円	72.5%	△11億07百万円	△2.6%	424億63百万円	△2億20百万円	△0.5%	21.0%	△0.3pt	27億03百万円	+8.2%
eビジネス ルート	101億16百万円	17.6%	25.2%	9億08百万円	112億70百万円	19.4%	+11億53百万円	+11.4%	110億30百万円	+2億39百万円	+2.2%	24.2%	△1.0pt	9億84百万円	+8.3%
ホームセンター ルート	36億82百万円	6.4%	17.9%	△33百万円	43億30百万円	7.4%	+6億48百万円	+17.6%	42億09百万円	+1億20百万円	+2.9%	17.8%	△0.1pt	1億02百万円	黒字転換
海外 ルート	3億44百万円	0.6%	34.4%	△24百万円	4億02百万円	0.7%	+58百万円	+16.9%	4億16百万円	△14百万円	△3.4%	37.9%	+3.5pt	14百万円	黒字転換
全社合計	574億93百万円	100%	21.8%	33億84百万円	582億46百万円	100%	+7億52百万円	+1.3%	581億21百万円	+1億25百万円	+0.2%	21.5%	△0.3pt	39億95百万円	+18.0%

■ファクトリールート前年比: △2.6%

生産工場の稼働が回復傾向にあり、冷暖房用品等が売上高に貢献し、物流保管用品等の売上高も徐々に回復しています。しかしながら新型コロナウイルス感染症対策に必要なマスクや保護具等の売上高が前年同四半期より減少しました。(10ページ参照)

■eビジネスルート前年比: +11.4%

内訳は、通販企業様向けが前年比+12.0%、電子購買連携企業様向けが前年比+9.4%です。取扱商品の拡大や新型コロナウイルス感染症拡大の巣ごもり需要により、売上高が拡大しました。(11ページ参照)

■ホームセンタールート前年比: +17.6%

得意先様のプロショップを中心とした新規出店や、巣ごもり・DIYなどの需要による店舗への来客数増加に伴い、化学製品、手作業工具等の受注が増え、売上高増加に寄与しました。(12ページ参照)

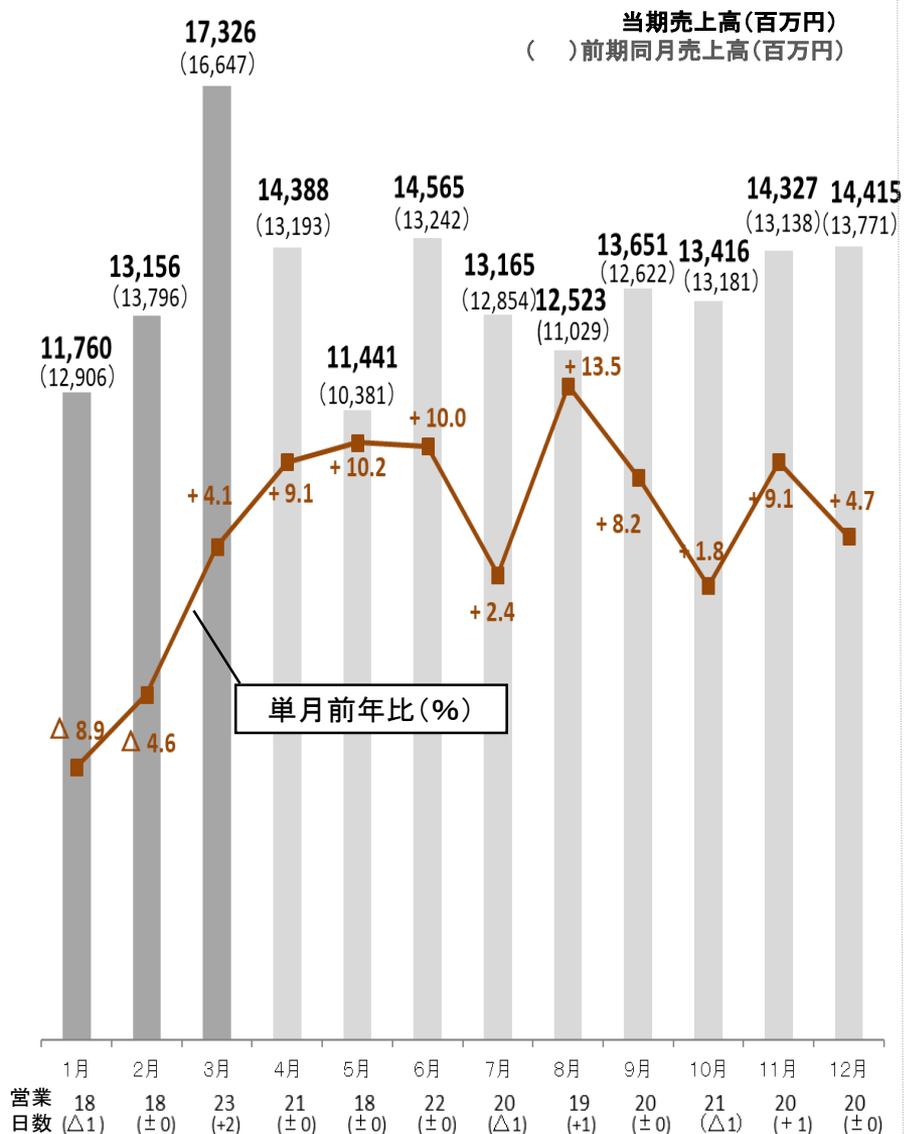
■海外ルート前年比: +16.9%

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、タイ、インドネシアでも社会活動制限が強化される中、市場のニーズに即した在庫拡充や新規得意先様との取引拡大を進めることで、売上高増加に寄与しました。(13ページ参照)

B-② 【連結】販売セグメント別月次売上高推移表

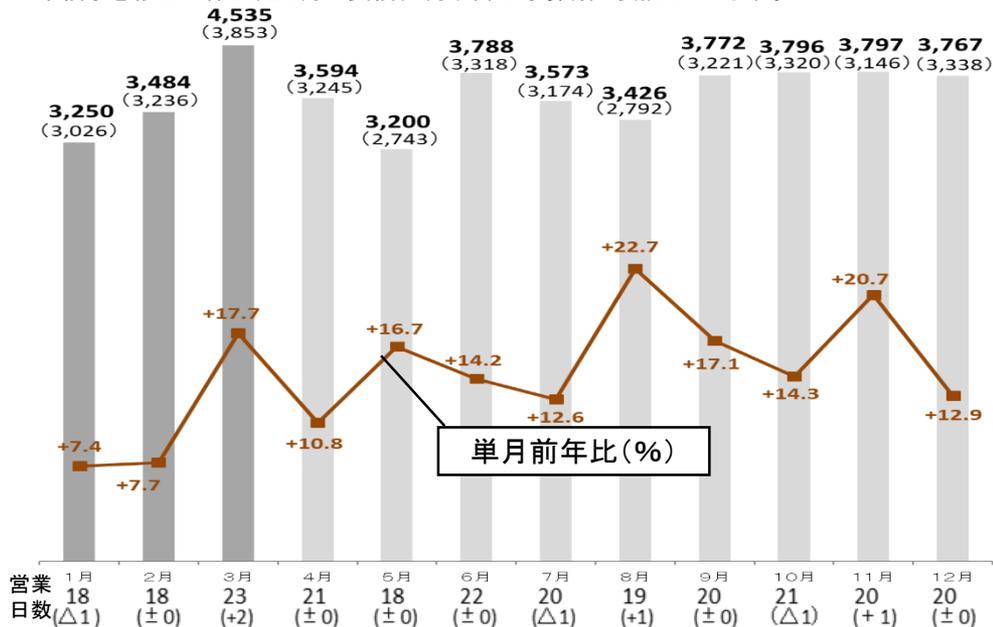
■ファクトリールート月次売上高推移表

※業績予想修正に伴い、1-3月は実績、4月以降は予算額で表記しています。



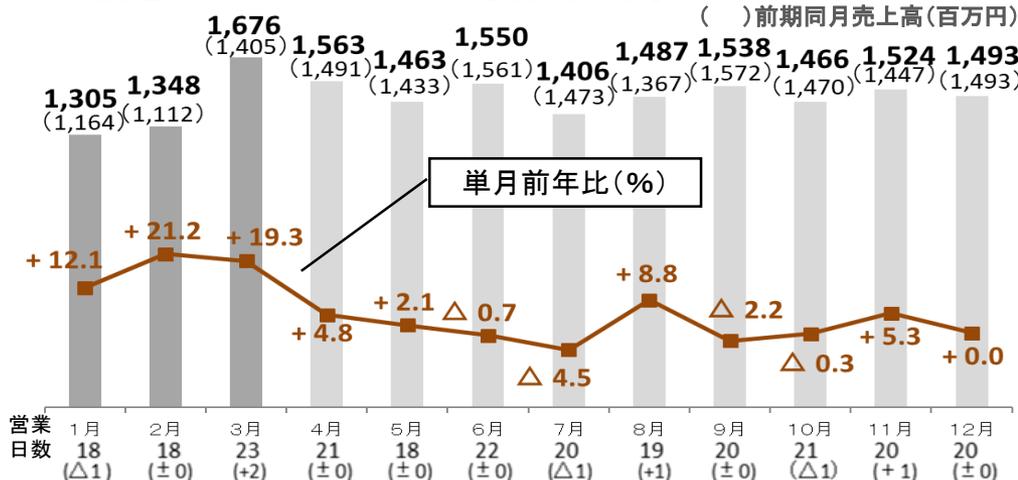
■eビジネスルート月次売上高推移表

※業績予想修正に伴い、1-3月は実績、4月以降は予算額で表記しています。



■ホームセンタールート月次売上高推移表

※業績予想修正に伴い、1-3月は実績、4月以降は予算額で表記しています。

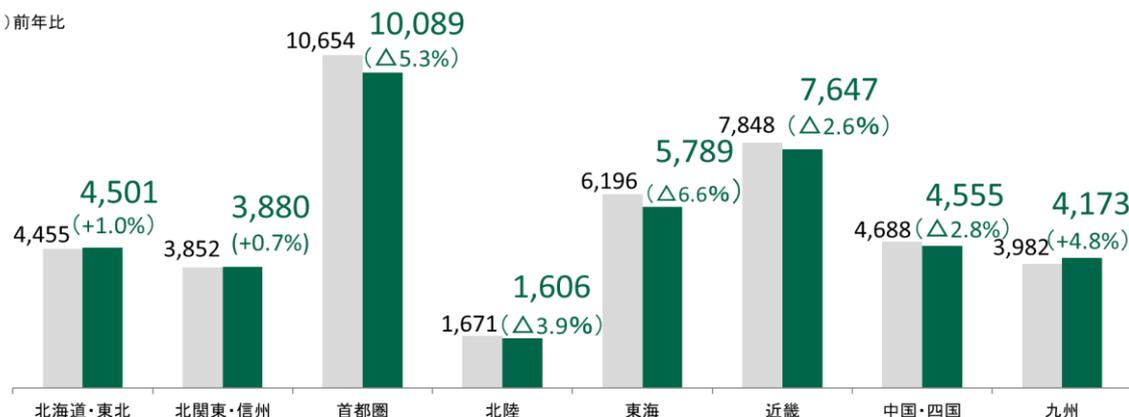


B-③ 【連結】ファクトリールート ブロック別・業種別・販売ルート別実績

■ファクトリールートブロック別売上高

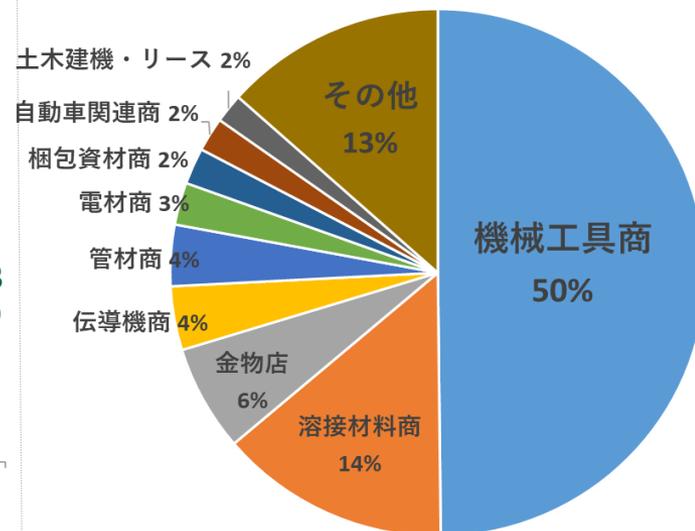
■ 令和2年(2020)第1四半期フルーツ売上高(百万円)
■ 令和3年(2021)第1四半期フルーツ売上高(百万円)

() 前年比



■ファクトリールート業種別売上高構成比

R3年(2021)12月期 第1四半期



■ファクトリールート販売ルート別売上高

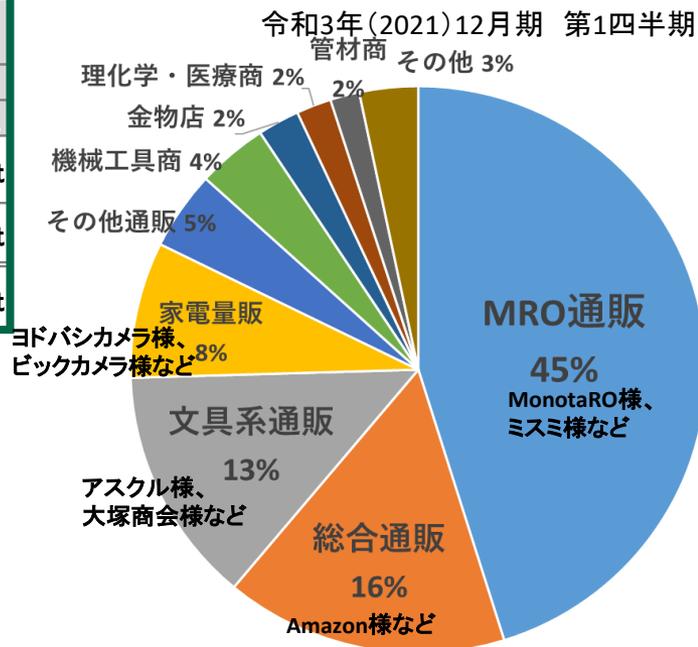
販売ルート	令和2年(2020)12月期 第1四半期			令和3年(2021)12月期 第1四半期						
	売上高		売上 総利益率	売上高				売上 総利益率		
	実績	構成比		実績	構成比	前年 同期比	予算	予算比	実績	前年 同期比
機械工具商	219億17百万円	50.6%	21.1%	210億63百万円	49.9%	Δ3.9%	212億13百万円	Δ0.7%	20.9%	Δ0.2pt
溶接材料商	61億73百万円	14.2%	21.7%	58億98百万円	13.9%	Δ4.5%	60億01百万円	Δ1.7%	21.4%	Δ0.3pt
その他製造業関連 (理化学・伝導機・梱包材商など)	71億56百万円	16.5%	20.9%	71億40百万円	16.9%	Δ0.2%	71億28百万円	+0.2%	20.7%	Δ0.2pt
建設関連	81億03百万円	18.7%	21.7%	81億40百万円	19.3%	+0.5%	81億19百万円	+0.3%	21.4%	Δ0.3pt
ファクトリールート合計	433億50百万円	100.0%	21.3%	422億43百万円	100%	Δ2.6%	424億63百万円	Δ0.5%	21.0%	Δ0.3pt

B-④ 【連結】eビジネスルート売上高・オレンジコマース連携数

■eビジネスルート売上高

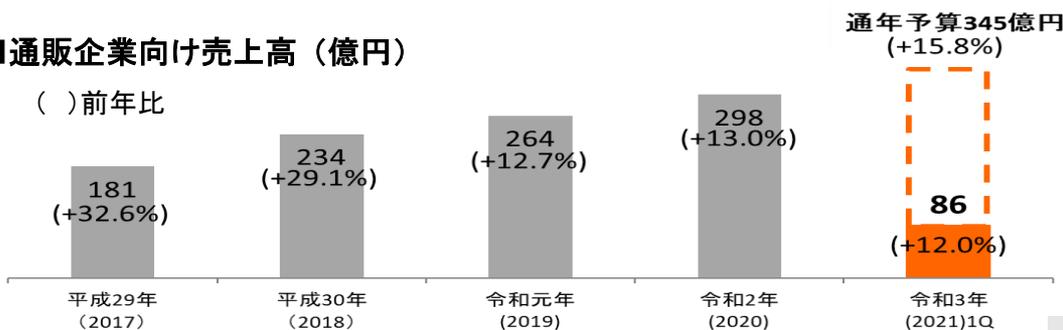
販売ルート	令和2年(2020)12月期第1四半期			令和3年(2021)12月期第1四半期				
	売上高		売上総利益率	売上高			売上総利益率	
	実績	構成比		実績	構成比	前年比	実績	前年比
通販企業向け	77億17百万円	76.3%	24.5%	86億46百万円	76.7%	+12.0%	23.3%	△1.2pt
オレンジコマース(電子購買)連携企業向け	23億98百万円	23.7%	27.5%	26億24百万円	23.3%	+9.4%	27.3%	△0.2pt
eビジネスルート合計	101億16百万円	100.0%	25.2%	112億70百万円	100.0%	+11.4%	24.2%	△1.0pt

■通販企業向け売上高 業種別売上高比率



■通販企業向け売上高(億円)

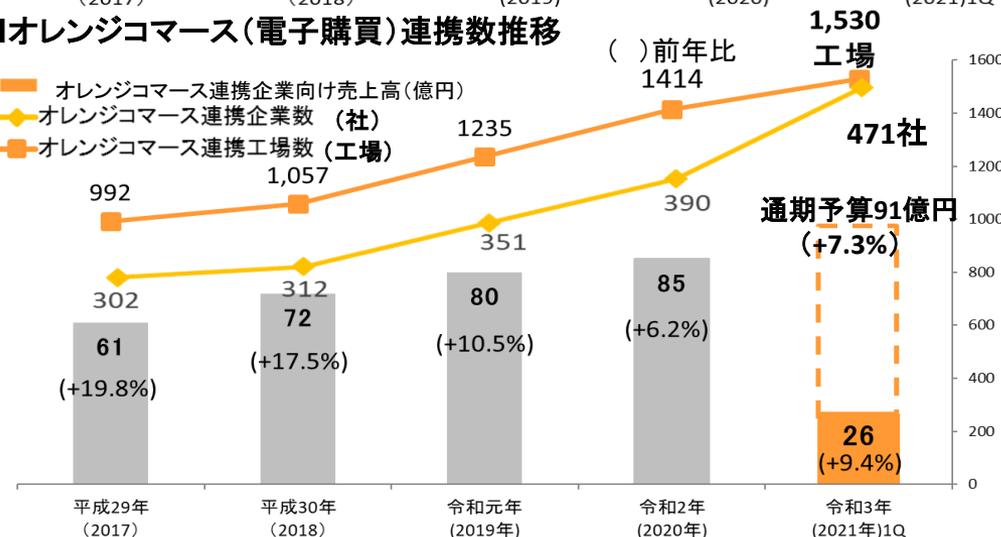
()前年比



■オレンジコマース(電子購買)連携数推移

- オレンジコマース連携企業向け売上高(億円)
- オレンジコマース連携企業数(社)
- オレンジコマース連携工場数(工場)

()前年比



■電子購買とは

ユーザー様が仕入原価の低減や業務の効率化を目的として、購買の一連の流れをインターネット(システム)を利用して管理する方式。大手ユーザー様を中心に利用されています。



ユーザー様の購買システムとトラスコ中山のシステムが連携し、物流は販売店様との三社間で行います。

B-⑤ 【連結】ホームセンタールート得意先 上位10社取引高

プロツールの卸売業として、当社が得意とするプロツールの販売に特化し、ホームセンター様各社にプロツール売場の提案を積極的に行っています。今後は、プロショップ様・資材館のあるホームセンター様との取組を強化し、当社総合力をもって商品販売を行ってまいります。

■ホームセンター得意先別売上高

単位：百万円、%

順位	得意先名	令和2年 (2020)12月期 第1四半期	令和3年 (2021)12月期 第1四半期	前年同期比
1	DCM ホダカ(株)(プロショップ)	503	663	+ 31.8
2	(株)ナフコ	384	525	+ 36.9
3	コーナン商事(株)	349	501	+ 43.3
4	ロイヤルHC(株)	335	328	△ 2.1
5	DCMカーマ(株)	282	326	+ 15.7
6	(株)カインズ	319	325	+ 2.2
7	DCMホームマック(株)	237	259	+ 9.5
8	(株)島忠	233	207	△ 11.2
9	(株)コメリ	147	197	+ 34.2
10	(株)ホームセンターパロー	97	151	+ 54.9
10社合計		2,889	3,487	+ 20.7
HCルート売上合計		3,682	4,330	+ 17.6
10社のルート売上占有率		78.5	80.5	

当社から調達いただける商品アイテム数が増加したことにより、売上高が好調に推移しました。ホームセンター様は、ネットと店舗を融合させ、来店客へのサービスを向上させるという取組をされており、当社の在庫を便利にご利用いただきました。また、プロショップ様向けへの売上高も増加しております。

■DCM ホールディングスへの売上高

合計：1,526百万円（前年比+19.4%）

DCMホダカ(株)、DCMカーマ(株)、DCMホームマック(株)、DCMダイキ(株)、DCMサンワ(株)、DCMくろがねや(株)、(株)ケーヨー、DCM オンライン

■プロショップ様向けの売上高

合計：741百万円（前年比：+30.4%）

プロの職人さんや工員さんが使用する工具などに特化して商品を販売している店舗をプロショップと呼んでいます。当社の取扱商品と親和性が高く、売上高が伸びている販売先です。

各企業名の敬称を省略しております。

B-⑥ 海外子会社の経営成績

■海外子会社の単体業績

令和3年(2021)12月期 第1四半期

単位:百万円

		売上高	売上 総利益	販売費及び 一般管理費	営業利益	経常利益	当期(四半期) 純利益
内)トラスコナカヤマ タイランド 1パーツ=3.54円 (前年3.34円)	実績	190	44	36	7	7	7
	率	-	23.1%	19.3%	3.8%	3.8%	3.8%
	前年 同期比	+17.5%	+5.8%	+2.3%	+28.3%	+26.6%	+26.6%
内)トラスコナカヤマ インドネシア 1ルピア=0.0077円 (前年0.0067円)	実績	63	15	31	△15	△13	△13
	率	-	24.8%	49.6%	-	-	-
	前年 同期比	+18.0%	+34.7%	+12.5%	-	-	-

【第59期の取り組み】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、タイでは非常事態宣言の再延長、インドネシアでも社会活動制限が再強化される中、市場のニーズに即した在庫拡充、新規得意先様や通販企業様との取引拡大を進めることで、営業活動を強化しました。

【参考】親会社におけるその他海外地域の売上実績

令和3年(2021)12月期 第1四半期

単位:百万円

		売上高	売上 総利益
その他海外地域への売上高実績 (フィリピン、中国、韓国など)	実績	147	39
	率	-	26.5%
	前年 同期比	+15.6%	+13.4%

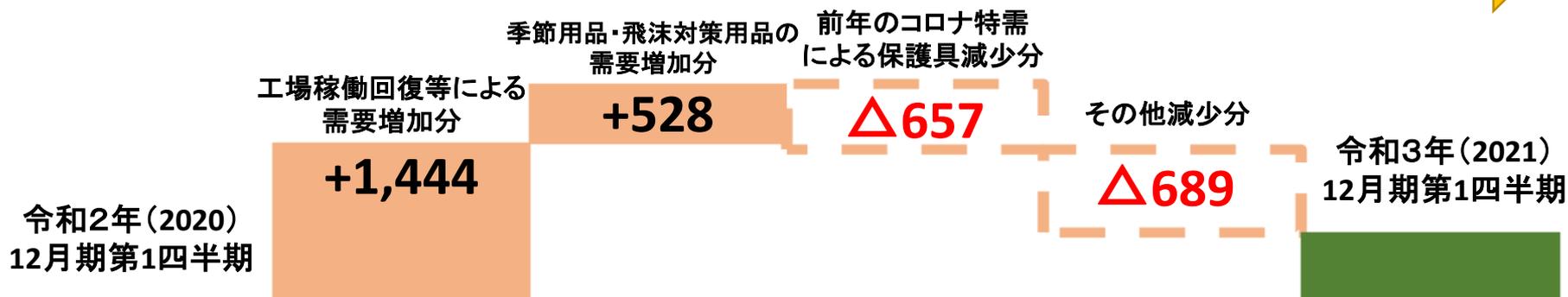
※連結仕訳(内部取引相殺など)の影響で、連結海外ルートの上総利益率は単体のものより高くなっています。

B-⑦ 【親単体】令和3年(2021)12月期第1四半期 売上分析

(単位:百万円)

令和3年(2021年)12月期第1四半期 業績推移

売上高 626百万円増加



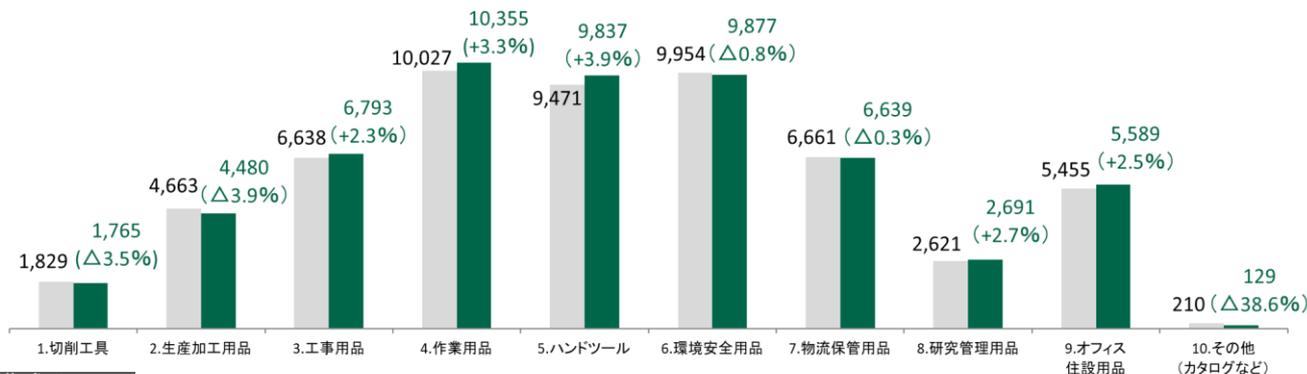
《主な内訳》

- 【工場稼働回復等による需要増加分】+1,444百万円**
- ・作業用品(接着剤、テープ等) : +423百万円
 - ・ハンドツール(手作業工具、電動工具) : +410百万円
 - ・工事用品(部品、金物、資材等) : +337百万円 など
- 【季節用品・飛沫対策用品の需要増加分】+528百万円**
- ・冷暖房用品(ストーブ、工場扇等) : +319百万円
 - ・安全用品(パーテーション等) : +121百万円 など
- 【前年のコロナ特需による保護具の減少分】△657百万円**
- ・保護具(マスク、保護服等) : △657百万円

B-⑧ 【親単体】令和3年(2021)12月期第1四半期 商品分類別 売上実績

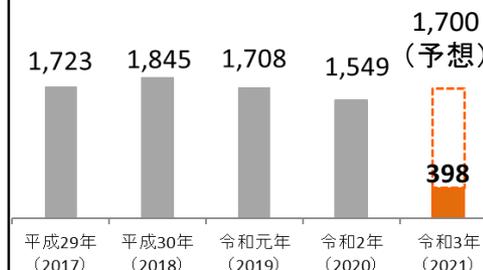
大分類別売上高グラフと中分類内訳

■ 令和2年(2020)第1四半期売上高(百万円)
■ 令和3年(2021)第1四半期売上高(百万円)



() 前年同期比

修理品売上高(百万円)



なおじろう
修理請負サービス“修理工房「直治郎」”

構成比(%)

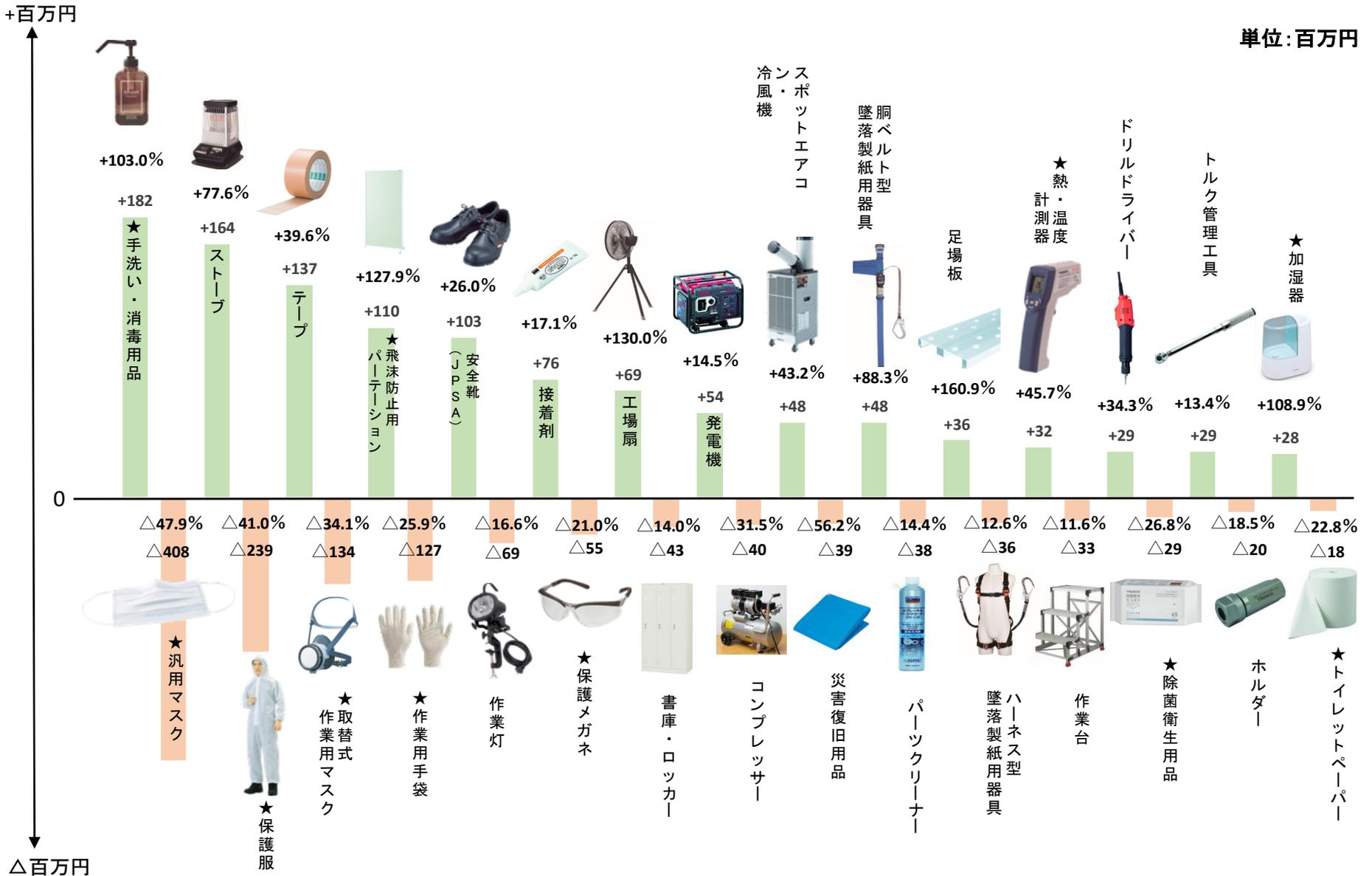
商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率	商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率		
1. 切削工具 3.1	① 切削工具	796	1.4	△5.3	11.2	6. 環境安全用品 17.0	⑲ 保護具	5,292	9.1	△10.0	24.5		
	② 穴あけ・ネジきり工具	968	1.7	△2.0	21.7		⑳ 安全用品	2,506	4.3	+5.1	25.5		
2. 生産加工用品 7.7	③ 測定計測	2,398	4.1	△0.4	15.9		㉑ 環境改善用品	451	0.8	+10.3	20.2		
	④ メカトロニクス	875	1.5	△9.4	15.6		㉒ 冷暖房用品	841	1.4	+61.2	15.1		
	⑤ 工作機工具	551	0.9	△7.7	23.5		㉓ 防災・防犯用品	311	0.5	+16.6	19.1		
	⑥ 電動機械	655	1.1	△5.2	11.6		㉔ 物置・エクステリア用品	474	0.8	△3.6	16.4		
	3. 工事用品 11.7	⑦ 油圧工具	513	0.9	△5.2		11.3	7. 物流保管用品 11.4	㉕ 荷役用品	1,908	3.3	△1.5	17.3
		⑧ ポンプ	803	1.4	△12.0		16.8		㉖ コンベヤ	273	0.5	△8.6	16.5
⑨ 溶接用品		564	1.0	+8.9	17.5		㉗ 運搬用品		2,492	4.3	+0.6	22.6	
⑩ 塗装・内装用品		561	1.0	+3.3	25.8		㉘ コンテナ・容器		950	1.6	+0.1	30.7	
⑪ 土木建築		757	1.3	+15.6	11.6	㉙ スチール棚	1,014		1.7	+1.7	27.2		
⑫ はしご・脚立		796	1.4	△6.9	22.4	8. 研究管理用品 4.6	㉚ ツールワゴン	267	0.5	△2.6	28.8		
⑬ 配管・電設資材		949	1.6	+4.7	23.2		㉛ 保管・管理用品	351	0.6	△4.2	31.8		
⑭ 部品・金物・建築資材		1,847	3.2	+8.4	27.2		㉜ 作業台	427	0.7	+5.4	28.7		
4. 作業用品 17.8	⑮ 切断用品	330	0.6	△3.6	11.9	9. オフィス住設用品 9.6	㉝ ステンレス用品	497	0.9	+0.2	18.6		
	⑯ 研削・研磨用品	1,942	3.3	+9.3	31.8		㉞ 研究開発関連用品	1,147	2.0	+6.5	18.9		
	⑰ 化学製品	4,734	8.1	△2.9	14.8		㉟ 清掃用品	1,577	2.7	+2.4	21.8		
	⑱ 工場雑貨	1,155	2.0	+11.8	27.9		㊱ 文具用品	594	1.0	+6.9	19.6		
	5. ハンドツール 16.9	⑲ 梱包結束用品	1,366	2.3	+6.2	29.7	10. その他 0.2	㊲ オフィス雑貨	829	1.4	+15.6	26.2	
		⑳ キャスター	825	1.4	+16.0	30.0		㊳ 電化製品	912	1.6	+0.1	22.3	
		㉑ 電動工具・用品	2,906	5.0	+14.6	21.4		㊴ OA事務用機器	484	0.8	+3.4	28.3	
		㉒ 空圧工具用品	1,786	3.1	+12.9	29.6		㊵ 事務用家具	1,113	1.9	△6.5	24.9	
㉓ 手作業工具		4,638	8.0	△4.2	13.9	㊶ インテリア用品		77	0.1	+8.9	19.4		
㉔ 工具箱		506	0.9	△0.7	27.3	㊷ 全体		129	0.2	△38.6	14.8		
合計		58,159	100.0	+1.1	21.4								

(単位: 百万円、%)

B-⑨ 【親単体】令和3年(2021)12月期第1四半期 売上分析(商品分類別)

■令和3年(2021年)12月期第1四半期商品別増減グラフ

★:新型コロナウイルス感染症関連需要



B-⑩ 【親単体】令和3年(2021)12月期第1四半期 トラスコ オレンジブック掲載カテゴリ別実績

■お客様の利便性を高めるツール

トラスコ
オレンジブック

TRUSCO モノづくり大辞典
オレンジブック



モノづくり現場で必要とされるあらゆるプロツールを掲載しているカタログ。紙カタログの見やすさとWEBの携帯性・検索性を融合した「トラスコ デジタルオレンジブック」も提供しています。

掲載商品数：約471,000アイテム(2021年版)
掲載メーカー数：1,851社
総ページ数：17,136ページ
年間発行部数：190,000部
サイズ：A4判

トラスコ
オレンジブック.Com

TRUSCO
オレンジブック.Com
工場・作業現場のプロツール総合サイト

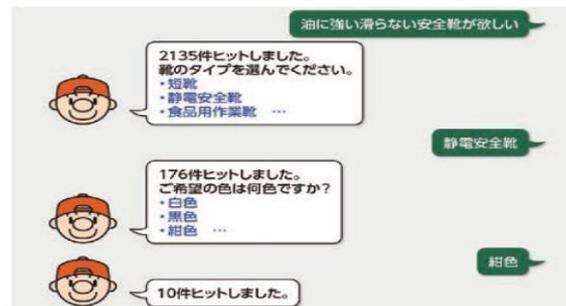


プロツールの商品検索や購入を目的とした総合サイト。商品見積・注文・返品が可能で、リアルタイムで在庫が確認できます。昨年リニューアルし、検索性や利便性が更に向上しました。

公開アイテム数：約239万点
システム受注率：84.2%
商品の安全データシートや図面、含有物調査票もダウンロード可
24時間対応

トラスコ
AI オレンジレスキュー

TRUSCO
AI オレンジレスキュー



AIの学習機能を駆使した対話型商品検索サービス。問合せに対して即時の返答が可能で、自然言語や同義語、業界特有の専門用語にも対応しています。

AIコミテくん(チャットボット)の特徴
・自然言語で対応
・音声入力対応
・スマートフォンでも対応

■トラスコオレンジブック掲載商品カテゴリ別売上高

商品分類別売上高をトラスコオレンジブック掲載カテゴリ別に分類し、表記しています。

分類	売上高	前年比(%)	分類	売上高	前年比(%)	分類	売上高	前年比(%)
1. 切削工具	18億96百万円	△3.1	9. 手作業工具	47億07百万円	+6.5	17. 搬送機器	24億44百万円	△0.9
2. 工作機工具	6億46百万円	△8.1	10. 電動・油圧・空圧工具	55億39百万円	+0.1	18. 清掃・衛生用品	33億83百万円	+6.8
3. 測定・計測用品	26億83百万円	+3.2	11. 保護具	55億31百万円	△13.5	19. 環境改善用品	19億65百万円	+40.2
4. メカ口部品	7億60百万円	△5.4	12. 安全用品	13億81百万円	+4.0	20. 園芸用品	4億76百万円	+21.9
5. 金物・建築資材	20億72百万円	+5.5	13. 梱包用品	36億46百万円	+9.2	21. オフィス・住設用品	28億45百万円	△4.1
6. 空圧用品	11億22百万円	△3.8	14. 工事・照明用品	55億56百万円	△1.3	22. 研究用品	14億27百万円	+4.8
7. 電子機器	10億81百万円	+6.2	15. 荷役用品	21億50百万円	△2.3			
8. 化学製品	33億30百万円	+4.0	16. 物流・保管用品	35億21百万円	△0.1			

B-⑪ 【親単体】令和3年(2021)12月期第1四半期 プライベート・ブランド(PB)商品 売上高実績

プライベート・ブランド商品においても新型コロナウイルス感染症予防に係る環境安全用品の需要が一服しました。工場の稼働の戻りにより、その他商品群に関しては前年同期比微増または微減で推移しました。

IPB分類別売上高の主な内訳 ※海外ルートは除く

単位:百万円

	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比	19.4%	構成比	19.5%	構成比	24.3%	構成比	5.8%
	粗利率	36.4%	粗利率	36.6%	粗利率	36.6%	粗利率	30.9%
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
合計	11,289	△1.6%	8,224	△4.2%	2,735	+7.2%	250	+0.5%
切削工具	186	△1.2%	131	△4.0%	33	△0.9%	18	+13.9%
生産加工用品	405	+1.5%	292	△1.8%	100	+13.2%	5	+0.5%
工事用品	950	+1.0%	684	△2.6%	243	+11.5%	16	+9.1%
作業用品	1,929	+0.0%	1,518	△2.3%	377	+10.7%	20	+1.0%
ハンドツール	1,195	+3.1%	830	△1.0%	307	+12.2%	34	+5.3%
環境安全用品	1,764	△14.4%	1,338	△14.2%	390	△11.2%	28	△40.8%
物流保管用品	2,751	+1.7%	1,941	△1.2%	682	+9.9%	117	+10.6%
研究管理用品	945	+0.1%	703	△3.1%	238	+13.1%	0	△48.8%
オフィス住設用品	1,158	+1.6%	783	△2.8%	360	+11.5%	8	+139.8%
その他	0	△0.2%	0	-	-	-	0	△0.3%

IPB商品

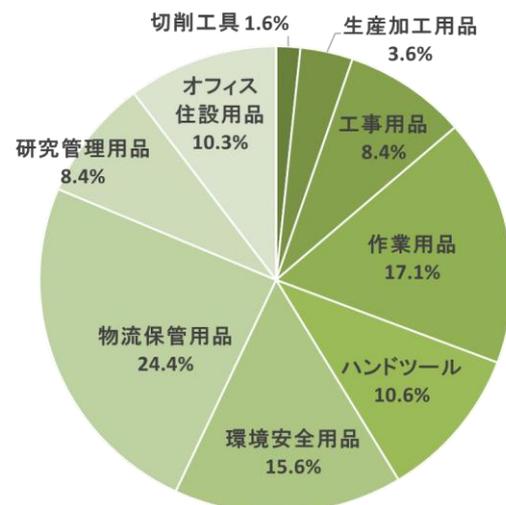
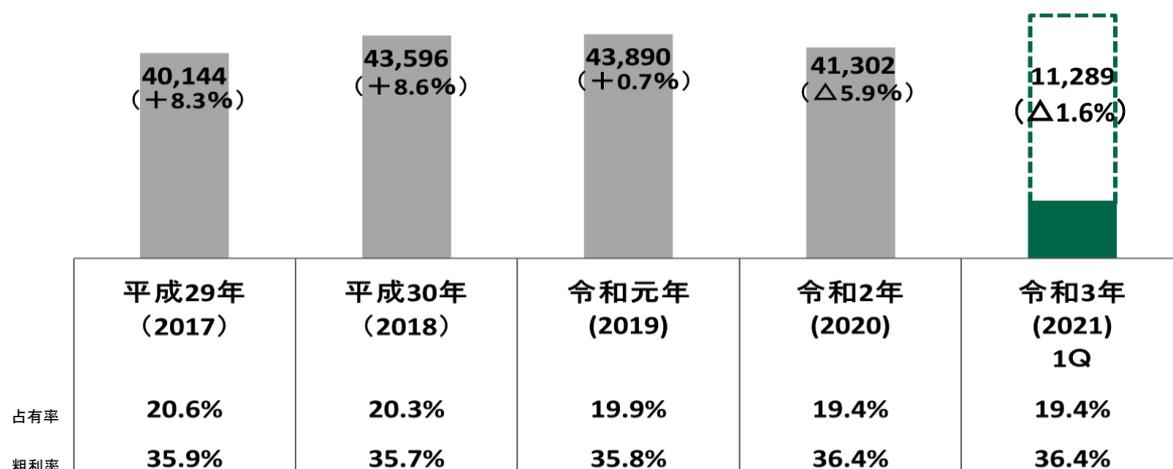


年間約5,000アイテムの新規商品を投入している自社企画開発商品。ナショナル・ブランド商品に比べ利益率が高く、売上高構成比は19.4%を占めています。



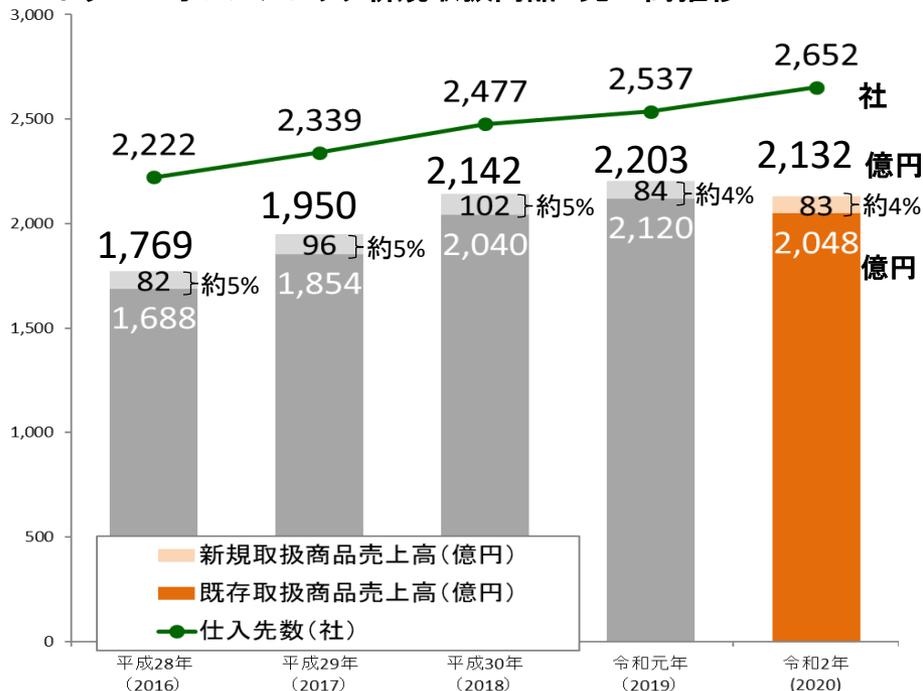
IPB商品 売上高推移 単位:百万円 (前年同期比)

通期予算:440億円 IPB売上構成比 令和3年(2021)12月期 第1四半期

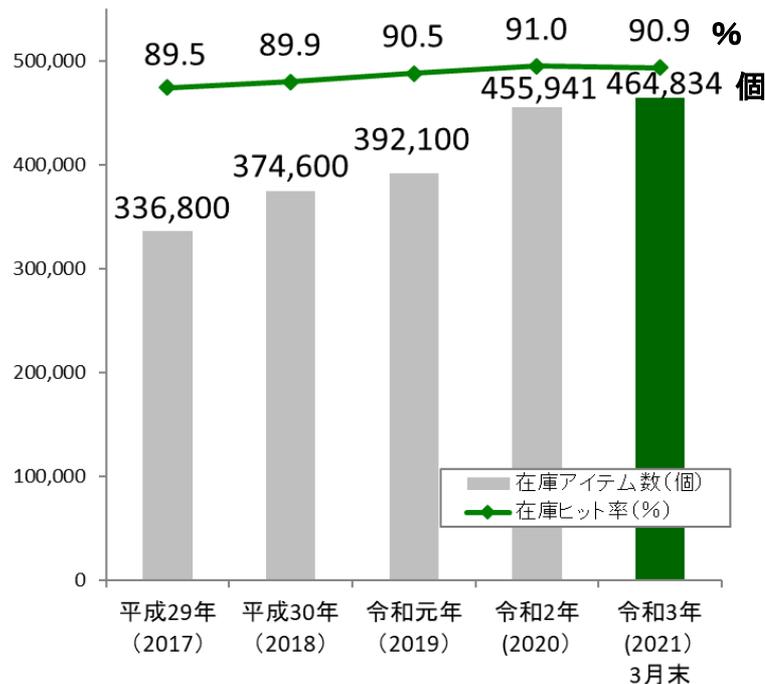


C-① 仕入先数及び新規掲載商品売上高／在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数及び法人数

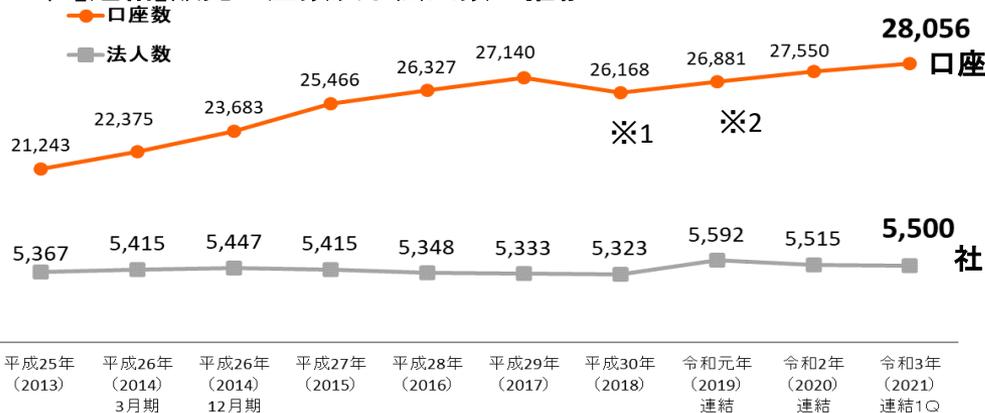
1、【親単体】仕入先数の推移及び全社売上高における トラスコ オレンジブック新規取扱商品 売上高推移



2、【親単体】在庫アイテム数及び在庫ヒット率の推移



3、【連結】販売口座数及び法人数の推移



1、売上高のうち4%程度は、その年に商品カタログ「トラスコ オレンジブック」へ新規掲載された商品の売上高で構成されています。

2、在庫ヒット率＝在庫から出荷した商品の行数÷全注文行数

3、小規模法人の廃業等により法人数は横ばいですが、多店舗を持つ法人とのお取引が増加しているため、口座数は増加傾向にあります。

※1 平成30年(2018)の口座数減少は、ホームセンタールート取引先の取引終了による口座抹消が主な要因です。

※2 令和元年(2019)より海外子会社を含む法人数・口座数を掲載しています。

C-② 【親単体】物流データ

■配達便・社内間配送便 台数 令和3年(2021)3月末時点

	台数	前年同期比
総配達便数	273台	+1台
備車便(契約配達便)	161台	△11台
自社配達便	112台	+12台
社内間配送便	32台	△7台
備車便(契約便)	28台	△7台
自社保	4台	+0台
配達便・社内間輸送便計	305台	△6台

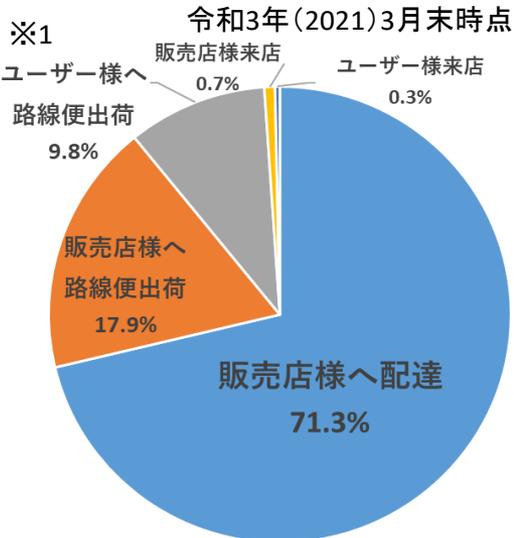
配達便について

配送ルートや在庫の社内移動を効率化することで配達便・社内間配送便の減便をすすめ、台数の適正化を図っています。

また、お客様へのサービス向上を目指し、自社配達便(当社社員による配達便)の台数を増やしています。現在の自社保率は41.0%で、増加傾向にあります。今後は自社保率50%まで高めることを目標としています。

■納品区分の実績

【受注行数ベース】



※1ユーザー様への路線便出荷については依頼された得意先様に運賃を負担いただきます。

C-③ 【親単体】システム稼働状況

■システム受注(FAX-OCR含む)実績

令和3年(2021)12月期第1四半期

受注実績	受注行数(行)	占有率 前年同期比(pt)	行数占有率
トラスコ オレンジブック.Com (販売店様、ユーザー様用)インターネット受発注	3,759,762	△2.0	39.7%
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	1,939,890	+1.3	20.5%
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	198,501	※1 +0.1	2.1%
DOTKUL (ドットクル) FAX-OCR	45,387	※2 △0.3	0.5%
EOS ホームセンター電子発注システム	2,027,100	+2.0	21.4%
計	7,970,640	+1.1	84.2%

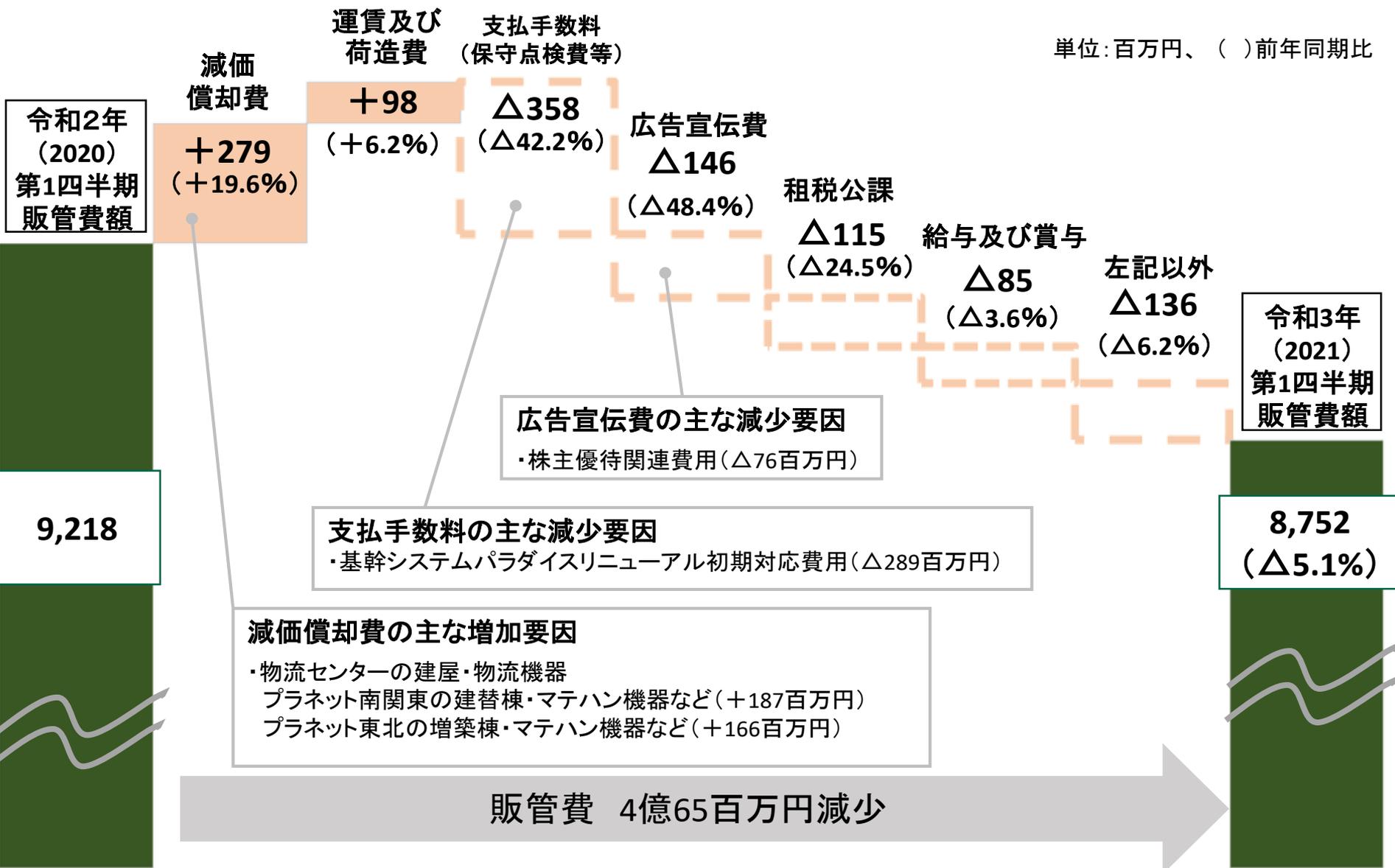
当社の商品データを連携させることにより、お客様への利便性向上を図ります。システム受注率は年々増加傾向です。

※1:ユーザー様の購買システムとの連携が進み、オレンジコマースの利用率が向上しました。

※2:FAX-OCR DOTKUL(ドットクル)は利用率の低下により2023年5月にサービスを終了する予定です。

D-① 【連結】令和3年(2021)12月期 第1四半期 販売費・一般管理費の主な増減内容

単位:百万円、()前年同期比



増減要因の詳細は次ページをご参照ください。

D-② 【連結】令和3年(2021)12月期 第1四半期 販売費・一般管理費

■販売費及び一般管理費の詳細

単位:百万円、%

【親単体】主な項目について

() 前年同期比

No.		令和2年(2020)第1四半期		令和3年(2021)第1四半期		前年 増減額	前年 同期比
		実績	売上高構成比	実績	売上高構成比		
1	給与及び賞与	2,401	4.2	2,315	4.0	△85	△3.6
2	減価償却費	1,425	2.5	1,704	2.9	+279	+19.6
3	運賃及び荷造費	1,573	2.7	1,672	2.9	+98	+6.2
4	賞与引当金繰入額	661	1.2	668	1.1	+7	+1.2
5	福利厚生費	524	0.9	516	0.9	△8	△1.6
6	支払手数料	851	1.5	492	0.8	△358	△42.2
7	租税公課	472	0.8	357	0.6	△115	△24.5
8	広告宣伝費	302	0.5	156	0.3	△146	△48.4
9	販売促進費	164	0.3	123	0.2	△41	△24.9
10	旅費及び交通費	120	0.2	119	0.2	△1	△1.1
11	消耗品費	101	0.2	115	0.2	+13	+13.3
12	役員報酬	113	0.2	105	0.2	△8	△7.3
13	通信費	93	0.2	96	0.2	+3	+3.2
14	その他	102	0.2	86	0.1	△15	△15.5
15	借地借家料	150	0.3	82	0.1	△67	△45.1
16	水道光熱費	93	0.2	72	0.1	△20	△22.6
17	車両費	55	0.1	61	0.1	+6	+11.5
18	交際費	9	0.0	5	0.0	△3	△39.2
計		9,218	16.0	8,752	15.0	△465	△5.1

・社員1,656名・パートタイマー1,130名
 ・社員残業代(△101百万円)
 ・パート給与及び賞与の増加(+18百万円)

・物流センターの建屋・物流機器
 プラネット南関東の建替棟・マテハン機器など(+187百万円)
 プラネット東北の増築棟・マテハン機器など(+166百万円)

・出荷量増加等による影響(+71百万円)
 うち、ユーザー直送の増加(+29百万円)
 ⇒出荷個数62万個(+7万個)

【参考】備車台数 161台
 (前期末比+1台)、
 自社社員配達便112台(前期末比+2台)

・基幹システムパラダイスリニューアル
 初期対応費用(△289百万円)

・P南関東建替え見積不動産取得税
 (△121百万円)

・株主優待関連費用(△76百万円)
 ・60周年記念誌発刊費用(△24百万円)

D-③ 【連結】財務諸表

貸借対照表

令和3年(2021)3月31日現在
単位:百万円、()前期末比

資産	負債・純資産
	流動負債
	42,526 (+11.3)
	内、短期借入金 17,000 (-)
	固定負債
	37,754 (+0.2)
	内、長期借入金 35,000 (-)
	純資産
	134,958 (+1.5)
	自己資本比率 62.7% (△1.0 pt)
流動資産 109,861 (+7.1)	
内、在庫 41,127 (△1.0)	
現金及び預金 36,485 (+12.7)	
固定資産 105,377 (△0.8)	
内、土地 32,632 (+0.2)	
建物 49,626 (+4.6)	
総資産 215,238	

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	令和2年(2020) 第1四半期	令和3年(2021) 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,798	5,695	+3,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,234	△665	+2,569
財務活動によるキャッシュ・フロー	△386	△921	△535
現金及び現金同等物に係る換算差額	△59	14	+74
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,882	4,123	+6,005
現金及び現金同等物の期首残高	18,330	32,344	+14,014
現金及び現金同等物の期末残高	16,447	36,467	+20,019

貸借対照表について

①在庫金額

取扱商品アイテム数の増加を強化しつつ、1品目当たりの在庫数においては、商品の地域特性や販売頻度を考慮し、全国の物流センターにおいて在庫の適正数量への見直しを行っています。また、3月末は繁忙期且つ需要の回復もあり在庫金額が減少しております。

②固定資産

当社では、「持つ経営」をポリシーとしているため、事業の根幹を支える物流センター、本社ビル、支店、データセンター、自社配達便のトラック、営業車などを自社所有しています。

D-④ 【連結】設備投資等の状況

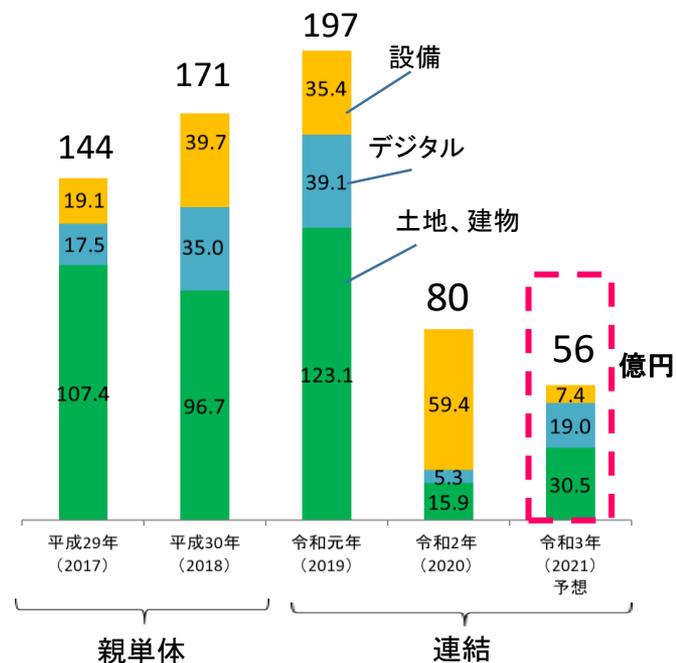
■主な設備投資の実績と予定

単位: 億円

主な設備投資 内訳		R2(2020)12月期	R3(2021)12月期	
		1Q~4Q 投資実績額	1Q 投資実績額	2Q~4Q 投資予定額
建物	プラネット大阪 倉庫新築工事 建設費		-	4.0
	プラネット東関東増築工事 建設費		-	2.7
	各所修繕工事		-	0.7
	その他		5.2	-
	建物合計	10.5	5.2	7.4
設備	P埼玉 物流機能増強 (I-Pack,オートストアへのピッキングロボット導入など)		-	5.6
	新型ハンディーターミナル 導入費用		-	0.3
	高松ストックセンター パレットラック増設		-	0.3
	P東海 ラック増設等		0.1	0.1
	豊橋ストックセンター 運用費用		0.1	-
	その他		0.5	0.4
	設備合計	59.4	0.7	6.7
システム	得意先サプライチェーン統一プロジェクト		0.1	3.0
	Sterraリプレイス(新商品情報管理システム)		-	3.0
	ネットワーク・セキュリティ見直し		0.1	4.0
	既存システムのクラウド化		0.1	1.8
	各種機器リプレイス		-	1.4
	その他		0.3	5.2
	システム合計	5.3	0.6	18.4
土地	プラネット愛知 新築計画		-	14.1
	HC東日本 移転計画		-	3.8
	土地合計	5.4	0.0	17.9
合計		6.5	50.4	
年間設備投資金額	80.6		56.9	

■設備投資額の推移

単位: 億円



設備投資額に関して

- ・設備投資予定額には、計画中のものも含まれている為、投資金額は変動する場合がございます。
- ・第59期はキャッシュアウトベースの金額にて記載しております。

令和3年(2021)12月期の減価償却費は70億円(前年比+5億円)を予定しております。

E-① 経営計画

◆予算のたて方について

予算は「全国の支店長が策定した支店年間予算」の合計を全社予算として採用しています。マーケットを熟知した支店長が、人員配置を含めた戦略を練り実行し、自身が最終責任をとるという意味で予算策定をしています。令和3年(2021)3月15日に通期予算の上方修正を行いました。

	第58期(2020年12月期)						第59期(2021年12月期)					
	(連結)			(単体)			(連結)			(単体)		
	実績 (百万円)	前期差額 (%)	前期比 (%)	実績 (百万円)	前期差額 (百万円)	前期比 (%)	計画値 (百万円)	前期差額 (百万円)	前期比 (%)	計画値 (百万円)	前期差額 (百万円)	前期比 (%)
売上高	213,404	▲7,270	96.7	213,205	▲7,151	96.8	227,520	+14,115	106.6	227,000	+13,795	106.5
ファクトリールート	156,765	▲13,276	92.2	156,765	▲13,259	92.2	164,355	+7,589	104.8	164,355	+7,589	104.8
eビジネスルート	38,417	+3,925	111.4	38,417	+3,925	111.4	43,744	+5,327	113.9	43,744	+5,327	113.9
ホームセンタールート	16,992	+2,289	115.6	16,992	+2,289	115.6	17,700	+707	104.2	17,700	+707	104.2
海外ルート	1,228	▲208	85.5	1,030	▲107	90.6	1,720	+491	140.0	1,200	+169	116.5
1日当たり売上高	-	-	-	892	▲45	95.1	-	-	-	945	+53	106.0
プライベート・ブランド商品売上高	-	-	-	41,302	▲2,588	94.1	-	-	-	44,000	+2,698	106.5
実働稼働日数	-	-	-	239日	+4日	-	-	-	-	240日	+1日	-
売上総利益	45,909	▲1,124	97.6	45,733	▲1,123	97.6	48,960	+3,050	106.6	48,700	+2,967	106.5
売上総利益率(%)	21.5%	+0.2pt	-	21.5%	+0.2pt	-	21.5%	±0.0pt	-	21.5%	±0.0pt	-
販売費及び一般管理費	34,891	+1,654	105.0	34,630	+1,695	105.1	35,790	+898	102.6	35,500	+870	102.5
営業利益	11,017	▲2,779	79.9	11,102	▲2,818	79.8	13,170	+2,152	119.5	13,200	+2,098	118.9
経常利益	11,559	▲2,638	81.4	11,635	▲2,667	81.3	13,820	+2,260	119.6	13,840	+2,205	118.9
当期純利益	8,007	▲1,606	83.3	8,085	▲1,629	83.2	9,520	+1,512	118.9	9,550	+1,465	118.1
1株当たり当期純利益	121円 43銭	▲24円 35銭	-	122円 62銭	▲24円 70銭	-	144円 37銭	+22円 94銭	-	144円 82銭	+22円 20銭	+22円 20銭
1株当たり配当金	30円 50銭	▲6円 00銭	-	-	-	-	36円 50銭	+6円 00銭	-	-	-	-
商品在庫金額	41,542	▲2,110	95.2	40,611	▲2,170	94.9	45,810	+4,267	110.3	45,000	+4,388	110.8
減価償却費	6,565	+1,689	134.6	6,495	+1,693	135.3	7,035	469	107.2	6,967	471	107.3

この経営計画は本資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは異なる可能性があります。

E-② 第59期 主な設備投資・トピックス

運賃半分、手間半分、環境にも優しい ユーザー直送機能の拡充

ネット通販企業様による商品調達がモノづくり現場で浸透するにつれ、ユーザー様直送の依頼が急激に増加しています。

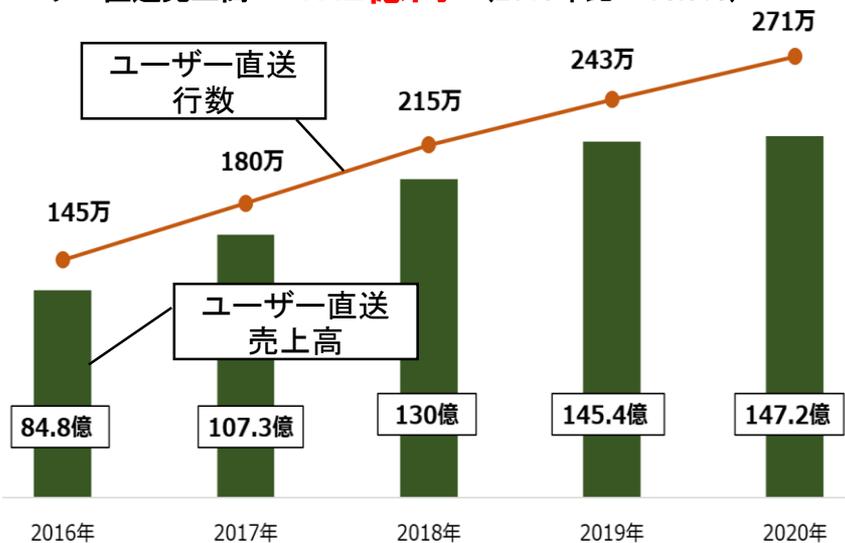
ネット通販企業様各社とのお取り組みの伸長や業界全体の人手不足、ユーザー様からの納期短縮要請などを鑑みると、今後もユーザー直送件数が増え続けるのは確実であり、直送体制の強化が必須と考えています。

■出庫能力:720cs/h(1ライン)、約24人分
導入センター:プラネット東北、埼玉、東海、大阪
(プラネット埼玉:2ライン、その他各1ライン 計5ライン)

■全国の物流センターからのユーザー直送

ユーザー直送行数 **271万行** (2016年比 +87.0%)

ユーザー直送売上高 **147.2億円** (2016年比 +73.6%)



今後の具体的な取り組み

■プラネット埼玉 I-Pack出荷能力の
最大値の引き上げ



今期投資予定額:約5.8億円

設備名	設備数		能力	
	現在	今後	現在	今後
① I-Packライン	2ライン	3ライン(+1)	1日当たり 8,000箱投入	1日当たり 15,200箱投入
② I-Pack用GAS	2台	6台(+4)		
③ I-Pack作業場	10か所	19か所(+9)		
④ 方面仕分けロボット	-	1基(+1)	-	1時間当たり 300仕分け

置き薬ならぬ置き工具「MROスタッカー」の導入加速 2021年3月末時点導入企業数・・・75件

各地での土地取得

1. プラネット愛知(仮称) 土地取得

■所在地 :愛知県北名古屋市
(北名古屋沖村西部土地区画整理事業地)

■敷地面積:12,595坪

■今期投資金額:約14.1億円 ■総投資額:未定(計画中)

2. HC東日本物流センター 土地取得

■所在地 :新潟県三条市福島新田 ■敷地面積:7,986坪

■今期投資金額:約3.8億円 ■総投資額:未定(計画中)

参考資料①－株式情報

■株主情報

単位：名

	平成30年 (2018) 12月末	令和元年 (2019) 12月末	令和2年 (2020) 12月末
株主合計	29,997	40,106	16,336
単元株主	29,408	39,494	15,514
単元未満株主	588	611	821
自己名義株式	1	1	1
金融機関・証券会社	63	61	65
国内法人	657	690	553
外国法人等	228	252	201
個人その他	29,048	39,102	15,516
自己名義株式	1	1	1

■株主優待制度の廃止について

(令和2年8月21日発表)

当社では、株主様への感謝と、より多くの方々に当社株式を保有いただくことを目的に株主優待制度を平成6年度に導入し、以来、株主様数は順調に増加し、第58期末には約5万名になることが予想されました。

その一方で株主様優待商品の費用が第57期は約1億8千万円と、年々増加傾向にありました。

当社ではモノづくり現場でのニーズにお応えするため、今後も物流設備や情報システム(デジタル)への投資が必要であり株主様優待制度を見直し、さらなる成長のための投資につなげることといたしました。

尚、配当性向は25%を維持します。

■ROE推移

単位：%

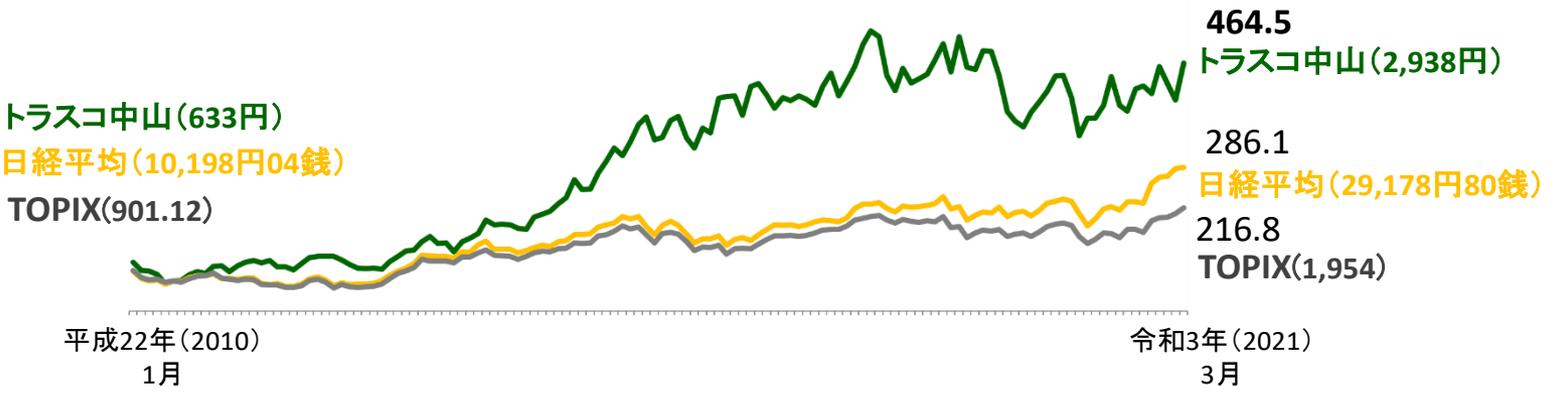
	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)
ROE	9.8	9.3	8.3	7.5	6.1

<ROEに対する考え方>

当社では、企業価値向上のための継続的な投資をすることで利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切に、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。

■株価指数の推移

平成22年(2010)1月を100とした場合の各指標の動きを数値化しています。



2021年3月23日(金)

当社株価 終値
2,765円

日経平均株価 終値
29,020円63銭

TOPIX 終値
1,914円98銭

参考資料②－業界での指数比較

■同業界の商社、直販企業(上場企業)の業績

機械工具業界の商社には下記のような企業がありますが、卸売業・小売業で事業展開が異なり、それぞれ取扱う主力商品も異なっています。当社は工作機械などの大型機械の取扱いは無く、消耗品の取扱いが中心です。

単位：百万円、%、敬称略

卸売

	決算月	令和2年(2020年) -実績・予想-		時価総額 (億円)
		売上高	前年比	
(株)山善	3月	430,000	△ 8.9	933
ユアサ商事(株)	3月	450,000	△ 8.4	689
(株)日伝	3月	100,000	△ 11.0	670
フルサト工業(株)	3月	91,900	△ 12.2	189
(株)NaITO	2月	39,145	△ 15.8	93
杉本商事(株)	3月	39,600	△ 9.8	251
トラスコ中山(株)	12月	213,404	△ 3.3	1,837
				4,662

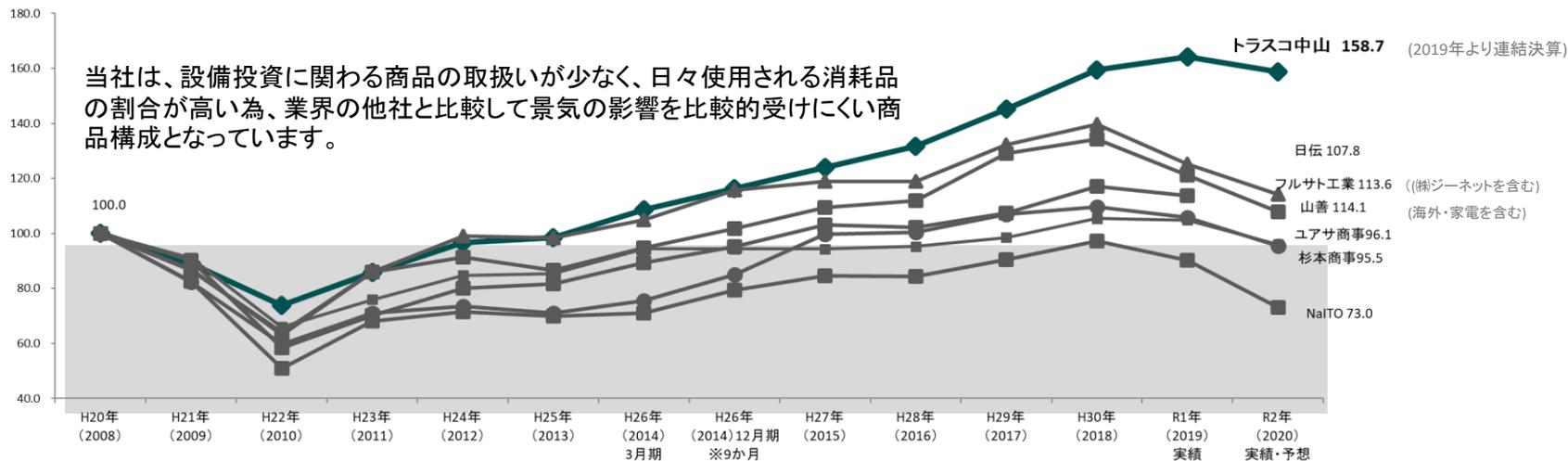
単位：百万円、%、敬称略

小売

	決算月	令和2年(2020) -実績・予想-		時価総額 (億円)
		売上高	前年比	
(株)ミスミグループ	3月	300,000	△ 4.3	8,868
(株)MonotaRO	12月	157,337	+ 19.7	14,000
				22,868

※連結決算を発表している会社は連結決算の数値を記載しています。
※各数値は令和3年(2021)4月28日時点で公表されている実績及び予想を記載しています。

■同業界の商社との売上高指数比較 (%)



※指数基準：平成20年(2008)を100とする。平成20年3月期は当社売上高1,344億円とリーマンショック前の過去最高額を記録した年です。
※令和2年(2020)5月7日現在公開のデータをもとに経営企画・広報IR課にて算出した数値です。
※平成26年12月期のトラスコ中山指数は、決算期変更により9か月の変則決算であったため、12か月に換算した売上高1,563億円をもとに計算した参考値です。

参考資料③－【連結】令和3年(2021)12月期 四半期毎の実績

【令和3年(2021)12月期 第1四半期【四半期ごと】】

単位:百万円、%

		第1四半期 (+1日)			第2四半期 (±0日)			第3四半期 (±0日)			第4四半期 (±0日)		
		予算	構成比	前年同期比									
売上高	予算	58,121	100.0	+1.1	55,949	100.0	+9.9	54,981	100.0	+9.2	58,469	100.0	+7.0
	実績	58,246	100.0	+1.3									
売上総利益	予算	12,516	21.5	△0.3	12,474	22.3	+10.0	11,664	21.2	+10.1	12,306	21.0	+7.8
	実績	12,543	21.5	△0.1									
販売費及び一般管理費	予算	8,811	15.2	△4.4	8,899	15.9	+4.5	8,790	16.0	+2.0	9,290	15.9	+8.8
	実績	8,752	15.0	△5.1									
営業利益	予算	3,705	6.4	+11.0	3,575	6.4	+26.6	2,874	5.2	+45.4	3,016	5.2	+4.7
	実績	3,790	6.5	+13.6									
経常利益	予算	3,943	6.8	+16.5	3,807	6.8	+26.3	2,958	5.4	+43.7	3,112	5.3	+0.4
	実績	3,995	6.9	+18.0									
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	予算	2,725	4.7	+17.4	2,615	4.7	+29.9	2,034	3.7	+47.3	2,146	3.7	△6.4
	実績	2,712	4.7	+16.9									

参考資料④－【連結】令和3年(2021)12月期 四半期毎の実績

【令和3年(2021) 12月期【累計】】

単位:百万円、%

		第1四半期 (+1日)			第2四半期 (±0日)			第3四半期 (±0日)			第4四半期 (±0日)		
		予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年比
売上高	予算	58,121	100.0	+1.1	114,070	100.0	+5.2	169,051	100.0	+6.5	227,520	100.0	+6.6
	実績	58,246	100.0	+1.3									
売上総利益	予算	12,516	21.5	△0.3	24,990	21.9	+4.6	36,654	21.7	+6.3	48,960	21.5	+6.6
	実績	12,543	21.5	△0.1									
販売費及び一般管理費	予算	8,811	15.2	△4.4	17,710	15.5	△0.1	26,500	15.7	+0.6	35,790	15.7	+2.6
	実績	8,752	15.0	△5.1									
営業利益	予算	3,705	6.4	+11.0	7,280	6.4	+18.2	10,154	6.0	+24.8	13,170	5.8	+19.5
	実績	3,790	6.5	+13.6									
経常利益	予算	3,943	6.8	+16.5	7,750	6.8	+21.1	10,708	6.3	+26.6	13,820	6.1	+19.6
	実績	3,995	6.9	+18.0									
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	予算	2,725	4.7	+17.4	5,340	4.7	+23.2	7,374	4.4	+29.0	9,520	4.2	+18.9
	実績	2,712	4.7	+16.9									

参考資料⑤－会社データ

■社員数【連結】 令和3年(2021)3月末現在 単位:名

	女	男	合計	前年同月比
役員	1	10	11	△1
執行役員	0	2	2	+0
キャリア	167	423	590	△22
エリア	278	305	583	+10
サポート	24	2	26	△2
スペシャリスト	16	13	29	+0
ロジス	76	266	342	△5
契約社員	1	39	40	+3
現地法人	18	24	42	△2
健康保険組合出向者	1	1	2	+0
中山財団出向者	0	0	0	+0
社員計(役員含まない)	581	1,075	1,656	△18
パート	845	285	1,130	+30
従業員計	1,427	1,370	2,797	+11

女性社員比率35.1%/女性セールス65人/
女性キャリア比率28.7%(男性39.3%) ※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

■入社者数および退職者数 ※パートタイマー除く

	平成29年 (2017)【親単体】		平成30年 (2018)【親単体】		令和元年 (2019)【連結】		令和2年 (2020)【連結】		令和3年(2021) 3月末【連結】	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数(名)	510	1004	557	1,051	585	1,071	589	1085	581	1075
	1,514		1,608		1,656		1,674		1,656	
入社者(名)	63	72	52	57	41	46	37	42	0	0
	135		109		87		79		0	
退職者(名)	18	18	20	26	42	44	37	33	8	9
	36		46		86		70		17	
離職率(%)	3.4	1.8	3.5	2.4	6.7	3.9	5.9	3.0	1.4	0.8
	2.3		2.8		4.9		4.0		1.0	

■倒産による回収不能金額

	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)
回収不能金額 (万円)	0	35	0	4	0	0

■平均年齢・年収

	平均年齢(歳)			平均年収(万円)			
	女	男	全体	キャリア	エリア	ロジス	全体
令和2年 (2020)	32.1	41.9	38.4	721	601	461	619
令和元年 (2019)	31.3	42.0	38.2	758	642	492	655
平成30年 (2018)	30.9	42.1	38.2	804	680	520	701
平成29年 (2017)	30.7	42.7	38.6	805	696	541	715
平成28年 (2016)	30.6	43.5	39.3	757	651	519	674

※全体平均年収は執行役員を含み、退職金「ファイナンシャルボンド」を除く金額
※平成26年度より業績連動型賞与を支給開始。令和元年(2019)より業績連動型賞与廃止のため減額。

※令和元年(2019)12月期より連結決算開始のため、令和元年(2019)12月期より平均年齢は連結、平均年収は全て単体のデータ。

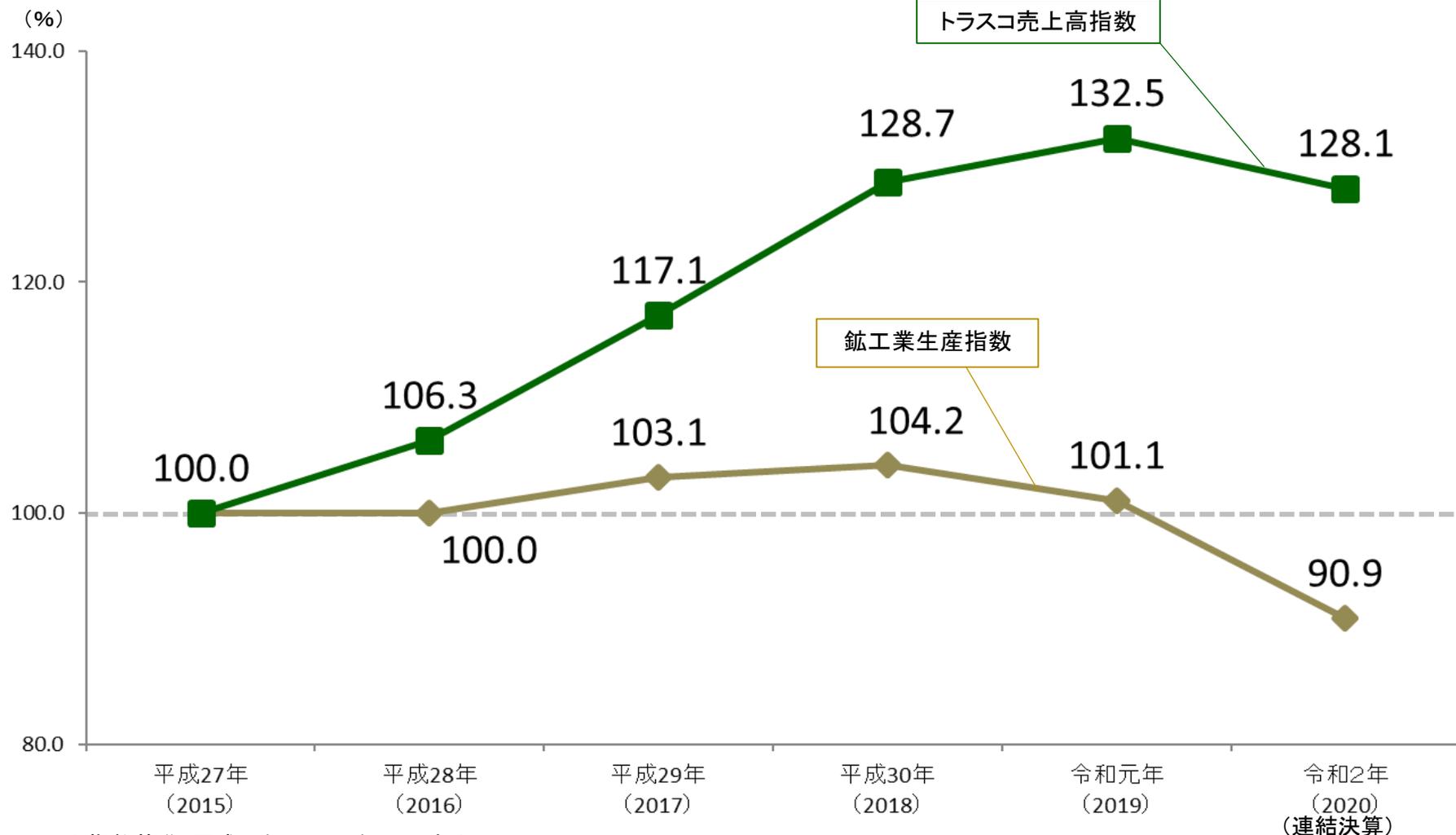
■拠点数【連結】 令和2年(2021)3月末現在

本社	2か所
支店	61か所
物流センター	17か所
海外拠点	3か所
ストックセンター	9か所
合計	92か所

■在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)
廃棄金額(百万円)	32	41	39	42	50
在庫金額(億円)	290	318	370	427	406
廃棄率(%)	0.11	0.13	0.11	0.10	0.12

■当社売上高指数及び鉱工業生産指数の推移



※指数基準:平成27年(2015)を100とする

※鉱工業生産指数は令和3年(2021)1月29日に経済産業省より公表された数値

参考資料⑦ー第59期 第1四半期トピックス

3月18日 第58期定時株主総会 開催



に持っているのが実はフォルクスワーゲングループなんです。アウディもそうですね。トヨタっていうのはグループの自動車メーカーというのは資本提携は一部、ありますけど、純然たる

▲実際のオンライン視聴画面

◆オンライン視聴者様の感想◆

「オンライン視聴でも臨場感を感じることができた」、「今後もオンライン視聴を継続してほしい」などの感想をオンラインで視聴いただいた多くのお客様からいただきました。

受付にパーテーションを設置▶

出席・視聴者数:556名 (大阪会場:202名 東京会場:122名 オンライン視聴:232名)

大阪・東京2会場の同時中継で株主総会を開催しました。また、今年は初めてオンラインで視聴できる形式も導入しました。2022年3月開催予定の第59期定時株主総会より開催会場を東京へ一本化し、柔軟にオンラインで視聴できる形式を強化してまいります。

◆新型コロナウイルス感染症 対策◆

- ・オンライン開催 ・進行プログラムの縮小
- ・各会場300名様に座席数を限定
- ・役員、部長及び運営スタッフは 令和2年(2020)3月1日から毎日検温を実施
- ・役員、部長及び運営スタッフ全員に PCR検査を実施し全員の陰性を確認
- ・マスク着用、アルコール消毒、サーモグラフィによる体表温計測の実施
- ・PB商品展示ブースの中止
- ・進行プログラムの縮小



◆社長OJS結果



支持率	有効投票率	賛成
98.4%	308票	303票

※有効投票数には当日投票されなかった方(棄権)、及び投票内容の判別が不可能だった方(無効)を含んでいません。

3月18日 Women Leaders in AI 2021 当社社員2名受賞

Women Leaders in AI 2021は、業界や国を問わずIBM Watsonを活用し、変革や成長、イノベーションの促進に貢献した女性リーダーを表彰するグローバルな賞です。今年には18か国の様々な企業から40名の女性リーダーが選出され、その内、当社社員が2名受賞しました。

～受賞者～

情報システム部 システム管理課
係長 杉原 美緒(入社14年目)
当社基幹システム「パラダイス3」の構築を担当。得意先様からの見積依頼をAIで解析し、自動計算された最適価格と納期で見積を自動回答する仕組みであるAI見積「即答名人」を実現しました。



情報システム部 IT企画課
遠藤 真奈美(入社5年目)
商品検索サービス「トラスコ AIオレンジレスキュー」の構築を担当。AIの言語解析を利用し、ユーザーが仮想アシスタントと対話しながら欲しい商品を見つけ出すことを可能にしました。

